

OSAKA UNIVERSITY PROFILE 2013

大阪大学プロフィール 2013
www.osaka-u.ac.jp



【目次】

1	総長からのメッセージ
2	沿革
	大阪大学の原点 — 未来
3	適塾創設175周年、緒方洪庵没後150年
4	未来戦略
	大阪大学未来戦略(2012-2015)
5	大阪大学未来戦略機構
6	受賞等
8	組織
10	歴代総長・運営体制
	役員・総長補佐・理事補佐・経営協議会学外委員
11	学部
12	大学院
14	附置研究所
	全国共同利用施設
15	学内共同教育研究施設
16	学内組織等
17	附属図書館・附属病院
18	大阪大学会館・総合学術博物館
	中之島センター・アーカイブズ・海外拠点
19	寄附講座・共同研究講座・協働研究所
20	職員数
21	学生数
22	入学者数
23	卒業生数・進路・学位授与者数
24	外国人留学生数
25	外国人研究者受入数
26	交流協定締結大学
27	予算
28	科学研究費助成事業等
29	世界トップレベル研究拠点プログラム等
30	グローバルCOEプログラム等
31	最先端・次世代研究開発支援プログラム等
32	がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン等
33	福利厚生施設等
34	キャンパスマップ
37	アクセス

22世紀に輝く 
www.osaka-u.ac.jp

【 総長からのメッセージ 】

物事の本質を見極め 世界に羽ばたく

大阪大学総長、平野俊夫からご挨拶申し上げます。

大阪大学の歴史は、1931年に創立された大阪帝国大学から始まります。その原点は、1838年に医師・緒方洪庵が大坂瓦町（今の大阪市中央区瓦町）に開設した蘭学塾「適塾」まで遡ります。今年は適塾開設175周年、緒方洪庵没後150年という大阪大学にとって記念すべき年になります。

適塾では、西洋の進んだ医学や病理学、化学や語学などの学問を教育していました。福澤諭吉、大村益次郎、長與専齋、佐野常民、大鳥圭介、橋本左内、手塚良庵（手塚治虫の曾祖父）ら数多くの塾生が、医学にとどまらず政・官・学のいろいろな分野を牽引し、明治における日本の近代国家の礎を築きました。自由闊達な気風と先見性を備えた適塾で学んだ若い有志が、日本の新しい時代を切り拓く大きな原動力になるとともに、緒方洪庵の教え「人のため、世のため、国のため、道のため」は、大阪仮病院に継承され、大阪医学校や大阪府立医科大学を経て、大阪帝国大学へと繋がっていきます。

その後1933年には、大阪工業大学（1896年設立）が工学部となりました。戦後、新たに法文学部が加わった際に、江戸時代中期、大坂町人が町人のためにつくった学問所「懐徳堂」の蔵書類が大阪大学に寄贈され、大坂の町に息づいた町民文化や独創的な学問・思想も受け継ぐに至りました。

2007年には、大阪外国語大学（1921年設立）との統合により、現在、11学部、16研究科、5附置研究所、24,000名の学生を擁する我が国屈指の研究型総合大学に成長いたしました。

司馬遼太郎は小説「花神」の中で、適塾は大阪大学の前身、緒方洪庵は校祖と書いていますが、適塾を原点として、懐徳堂の精神を受け継ぎ、大阪府民の熱意に支えられた大阪大学は、歴史と伝統に培われ、これまで多くの世界的研究業績を挙げるとともに、基礎研究に基づいた高度な技術の開発や先端医療への応用、産業や経済の発展、学術の進歩に大きな足跡を残してきました。また、10万人を超える卒業生は、教育研究の分野はもとより、社会の様々な分野、世界各地で活躍してきました。

初代総長の長岡半太郎博士は、「糟粕を嘗むる勿れ」（常に独創的であれ）を、また、第11代総長の山村雄一博士は、「地域に生き世界に伸びる」という言葉をそれぞれ残されました。教育と学問の府として社会に尽くすとともに、「物事の本質を見極め世界に羽ばたく」ことが大阪大学創立以来の精神であり、使命であります。

創立100周年を迎える2031年には、世界で10指に入るトップレベルの研究型総合大学となることを目指して大きく飛躍していきます。

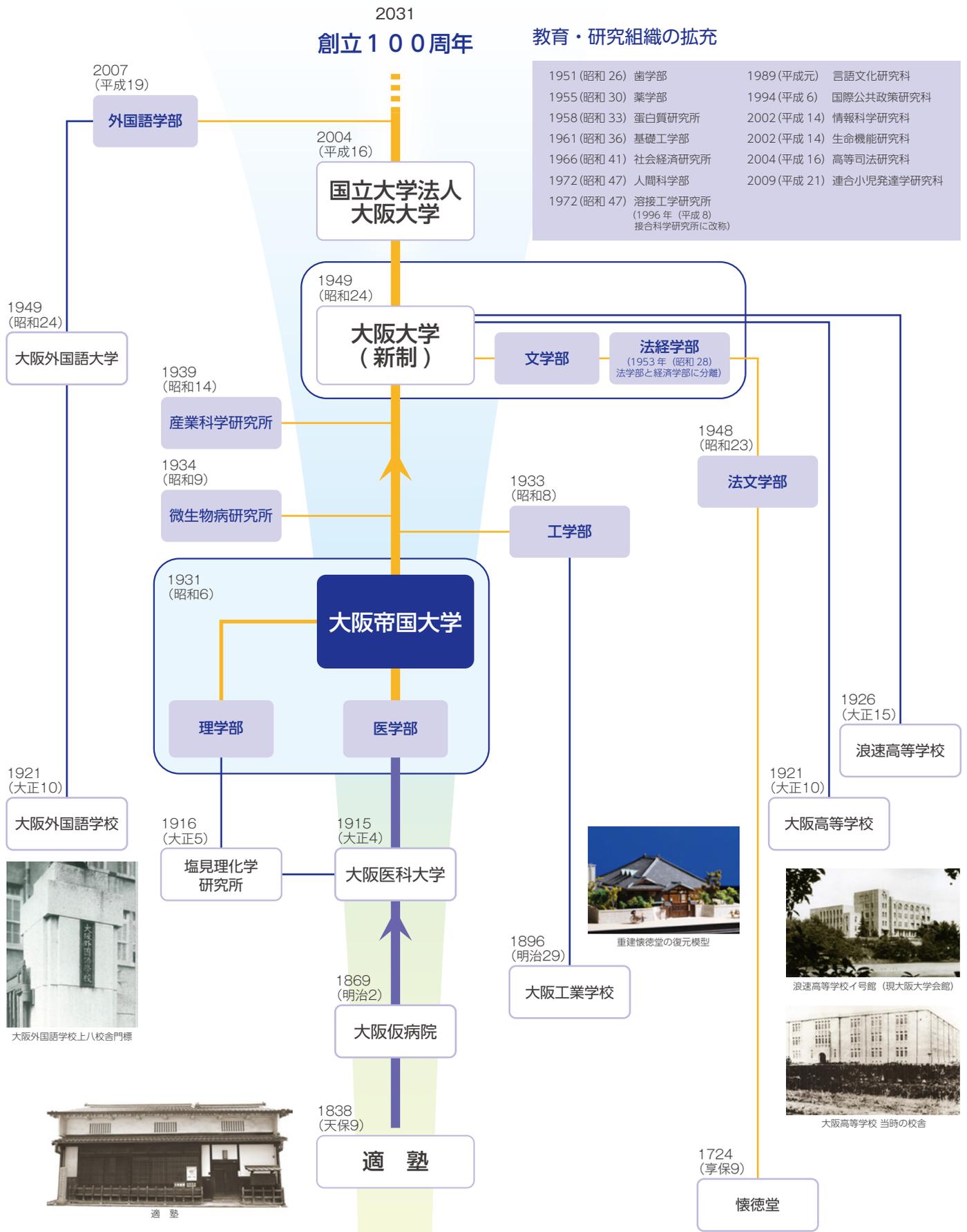
引き続き、大阪大学ホームページ（www.osaka-u.ac.jp）にご注目ください。



大阪大学総長

大阪大学の原点—未来

大阪大学は適塾を原点に、懐徳堂の精神も引き継ぐ



適塾創設175周年、緒方洪庵没後150年

2013年は、緒方洪庵が適塾を開いた1838年(天保9年)から数えて175年目、また、洪庵が1863年(文久3年)に54才で亡くなって150年目に当たる二重の節目の年です。

適塾開塾は明治維新まで30年という、社会に閉塞感が漂い、天然痘やコレラといった得体の知れない恐怖に曝されていた時期でした。洪庵の学問は、蘭学に活路を求めた多くの若者を日本各地から引きつけ、そして大きく育みました。適塾で学んだ千人を超える門下生から、日本の近代化に大きく貢献した人物が何人も輩出したことは周知のことです。歴史に名を残す人々だけでなく、各地で教育や医療に携わった門下生たちが日本の速やかな近代化を支えたことも疑いのないことです。

当時の塾生たちの勉学の様子を、福澤諭吉は、「学問勉強ということになっては、当時世の中に緒方塾生の右に出る者はなかるうと思われるその一例を申せば、(中略)時は何時でも構わぬ、ほとんど昼夜の区別はない、日が暮れたからといって寝ようとも思わず、頻りに書を読んでいる。読書にくたびれ眠くなって来れば、机の上に突っ伏して眠るか、あるいは床の間の床縁を枕にして眠るか、ついぞ本当に蒲団を敷いて夜具を掛けて枕をして寝るなどということは、ただの一度もしたことがない。(中略)これは私一人が別段に勉強生でも何でもない、同窓生は大抵みなそんなもので、およそ勉強ということについては、実にこの上にしようはないというほどに勉強していました。」と『福翁自伝』で述べ、近代医制、公衆衛生体制を整えた長與専齋(ながよせんさい)は、「塾中畳一枚を一席とし、其内に机・夜具其他の諸道具を置き、此に起臥することにてすこぶる窮屈なり。なかんずく或は往来筋となり、又は壁に面したる席に居れば、夜間人に踏み起こされ、昼間燭を点して読書するなどの困難あり。然るに毎月末、席換えとて輪講の席順に従い、上位の者より好み好みに席を取ることをゆえ、一点にても勝を占めたる者は次の人を追退けて其席を占むることを得るなり」と『松香私志』に記しています。

適塾の建物は奇跡的に戦災を免れ、大阪北浜に現存し、一般公開されており、今も当時の雰囲気を漂わせ、塾生たちの志に思いを馳せることができます。



「緒方洪庵肖像」
五姓田義松画 1901年



福澤 諭吉



長與 専齋

写真提供
福澤諭吉：慶應義塾福澤研究センター
長與専齋：長崎大学附属図書館



大阪大学未来戦略(2012 — 2015)

— 22世紀に輝く —

大阪大学が22世紀においても輝き続けるためには、いまの私たちは何をなすべきか、そして後世の人たちのために何を残すべきかを真剣に考え、議論し、策定した「未来のための戦略シナリオ」の骨子となる8箇条です。過去～現在～未来へと大阪大学をつないでいくため、全力を挙げて一つひとつを実行に移し、未来における大阪大学の基盤を確固たるものにしていきます。

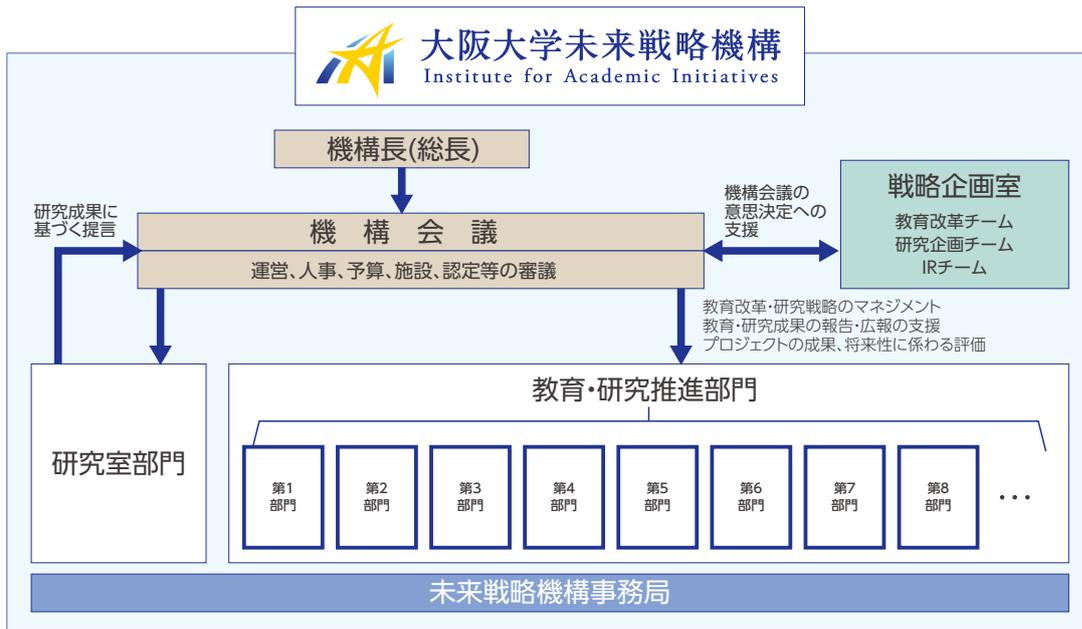
未来戦略 8 箇条

- ◆ 科学政策や国際戦略の策定、分野横断的な研究領域の開拓、深い専門性と多様性を有するグローバル人材の輩出、基礎研究の推進、若手研究者の育成など、大学全体が取り組むべき戦略的課題に柔軟かつ機動的に対応するために「大阪大学未来戦略機構」を設置する。総長のリーダーシップが発揮できるように、機構長を総長とし、本機構を大阪大学における大学改革の柱と位置づける。
- ◆ 全学教育推進機構を核に、教育のグローバル化を強く推進する。学生の海外派遣・留学を支援する施策を充実させるとともに、地球規模での多様な人材により構成されるグローバルキャンパスの早期実現を目指す。
- ◆ グローバルキャンパス実現のための国際戦略を策定する。この過程で海外拠点のあり方を見直すとともに、より実質的な大学間交流を目指す。
- ◆ 個人の観点と組織の観点を共に活かし、中長期的な視点に立って全体像を見据えつつ、さらに総長や各部局長の考えに基づき、大阪大学の将来の発展につながるような基礎研究の推進や人材育成などに、限られた財源の有効活用が図れるよう、大学内の財源配分を再検討する。
- ◆ 施設の維持管理を将来にわたって計画的かつ持続的に大学の責任で実行していく。このために必要となる財源確保の方策を策定し実行する。また、大学が保有する施設や土地等を中長期的展望に立ち、処分を含めてより有効活用するための施策を策定する。
- ◆ 大阪大学の未来戦略に基づいて、同窓会組織とより緊密な連携を図るとともに、未来基金の恒常的な基金増加方策を計画し実行する。
- ◆ 大阪大学の基本姿勢を広く社会や国に発信し、社会により開かれた大学を目指す。この目的に沿った広報・社学連携活動を国内外の区別なく、さらに強化する。
- ◆ 健康でより快適なグローバルキャンパスを目指し、施設の充実のみならず、学びがいや働きがいを感じ、安全で平穩に学習や研究に没頭できる、心身ともに健康で快適な環境の維持に資する施策を立案し実行する。

大阪大学未来戦略機構

未来戦略機構の特徴は、部局縦割りの教育研究と管理運営を排し、部局や教員が連携協力して学際的・融合的な取り組みが機動的に推進できる新しい体制を構築するところにあります。

総長のトップマネジメントの下で大阪大学の特筆分野にさらに磨きをかけ、総力を挙げて大学システムを革新させる「大学の中の大学」プロジェクトです。



教育・研究推進部門

平成25年6月1日現在

部門	名称	教育・研究分野と戦略
第1部門	 超域イノベーション博士課程プログラム	全学体制による文理統合型学位プログラムにより、専門力と汎用力を併せ持ち「超えることのできか生まれない」を生み出す新時代の博士人材を育成する
第2部門	 生体統御ネットワーク医学教育プログラム	先端的生命科学研究を展開する「創造力」、卓越した「コミュニケーション能力」、基礎研究成果を社会に応用する「イノベーション能力」を持つ人材を育成する
第3部門	 インタラクティブ物質科学・カデットプログラム	日本の競争力の源泉である「ものづくり」を支える物質科学のイノベーションリーダーを育成する
第4部門	 ヒューマンウェアイノベーション博士課程プログラム	情報、生命、認知の諸分野を融合するヒューマンウェアによってイノベーションの方向を転換し、柔軟・頑強で持続発展するシステムを構築できる博士人材を育成する
第5部門	 未来共生イノベーター博士課程プログラム	RESPECT—他者への敬意—が創造する「新しい多文化共生社会」を創る人材を育成する
第6部門	創薬基盤科学研究部門	大阪大学におけるライフサイエンス系の研究ポテンシャルを一層高め、部局横断的な創薬科学研究を推進する
第7部門	認知脳システム学研究部門	ロボット学、認知科学、脳神経学の統合により、人間理解を進めるとともに人間に親和性の高いシステムを実現する認知脳システム学の確立を目指す
第8部門	光子科学科学研究部門	大阪大学における光子科学に関する研究ポテンシャルを一層高め、部局横断的な光子科学研究を推進する

受賞等

国際賞

ノーベル賞(1名) ラスカー賞(1名) ガードナー国際賞(1名) ウルフ賞(2名) クラフォード賞(2名) 日本国際賞(2名)

氏名	受賞対象研究、研究分野等	受賞年
ノーベル賞		
湯川 秀樹	物理学賞「中間子の存在を理論的に予言」	1949
ラスカー賞		
花房 秀三郎	基礎医学研究賞「RNA腫瘍ウイルスによる発癌機構およびウイルスゲノム内に存在する癌遺伝子の役割に関する研究」	1982
ガードナー国際賞		
番良 静男	自然免疫の中核を担うたんぱく質の発見	2011
ウルフ賞		
早石 修	医学部門「酸素添加酵素(オキシゲナーゼ)の発見とその構造・生化学的重要性の解析」	1986
佐藤 幹夫	数学部門「代数解析学の創始、「超関数と超局所関数の理論、ホロノミック量子場理論、ソリトン方程式の統一理論を含む代数解析学の創造」	2002-2003
クラフォード賞		
岸本 忠三	インターロイキンの発見、それらの特性決定と炎症性疾患における役割の探求	2009
平野 俊夫		
日本国際賞		
岸本 忠三	生命科学・医学分野「インターロイキン6の発見から疾患治療への応用」への貢献に対して	2011
平野 俊夫		

国内賞

文化勲章(19名) 文化功労者(32名) 恩賜賞・日本学士院賞(17名) 日本学士院賞(45名) 紫綬褒章(72名)

氏名	受賞対象研究、研究分野等	受賞年	氏名	受賞対象研究、研究分野等	受賞年	氏名	受賞対象研究、研究分野等	受賞年
文化勲章								
長岡 半太郎	物理学	1937	仁田 勇	結晶化学	1966	今井 功	流体力学	1988
湯川 秀樹	原子物理学	1943	正田 建次郎	数学	1969	花房 秀三郎	細胞生物学・分子腫瘍学	1995
岡部 金治郎	電気工学	1944	安井 琢磨	近代経済学	1971	岸本 忠三	免疫学	1998
眞島 利行	化学	1949	早石 修	生化学	1972	豊島 久真男	ウイルス学・腫瘍学	2001
菊池 正士	原子物理学	1951	森嶋 通夫	理論経済学	1976	荒田 吉明	高温工学・溶接工学	2006
八木 秀次	電気工学	1956	小谷 正雄	分子生理学・生物物理学	1980	—	—	—
赤堀 四郎	生物有機化学	1965	岡田 善雄	細胞遺伝学	1987	—	—	—
文化功労者								
湯川 秀樹	物理学	1951	安井 琢磨	近代経済学	1971	荒田 吉明	高温工学・溶接工学	1995
岡部 金治郎	電気工学	1951	早石 修	生化学	1972	豊島 久真男	ウイルス学・腫瘍学	1998
眞島 利行	化学	1951	森嶋 通夫	理論経済学	1976	熊谷 信昭	電磁波工学	1999
菊池 正士	原子物理学	1952	小谷 正雄	分子物理学	1977	長田 重一	分子生物学・生化学	2001
八木 秀次	電気工学	1956	今井 功	流体力学	1979	新開 陽一	マクロ経済学・国際経済学	2004
今村 荒男	内科学	1960	岡田 善雄	細胞遺伝学	1982	松原 謙一	分子生物学・学術振興	2006
古武 彌四郎	生化学	1961	犬養 孝	万葉集研究	1987	山崎 正和	劇作・評論	2006
高田 保馬	社会学	1964	宮本 又次	日本経済史・日本経営史	1988	斯波 義信	東洋史学	2006
赤堀 四郎	生物有機化学	1965	山村 雄一	内科学・免疫学・生化学	1988	川島 康生	移植外科学・医学教育・医療振興	2007
仁田 勇	結晶化学	1966	岸本 忠三	免疫学	1990	番良 静男	免疫学	2009
正田 建次郎	数学	1969	花房 秀三郎	細胞生物学・分子腫瘍学	1991	—	—	—
恩賜賞・日本学士院賞								
湯川 秀樹	素粒子間の相互作用に関する理論的研究並びに宇宙線中の新素粒子Mesotronの存在に対する予言	1940	岡田 善雄	細胞融合現象の解析と細胞工学的応用	1980			
岡部 金治郎	磁電管に関する研究	1941	原 亨吉	パスカルの数学的業績	1982			
坂田 昌一	二中間子理論	1950	佐藤 了	ミクロソームの複合酸素添加酵素系に関する研究	1985			
今井 功	航空力学への寄与	1959	岸本 忠三	インターロイキン6(IL-6)に関する研究	1992			
永宮 健夫	反強磁性体の理論的研究	1963	本庶 佑	抗体クラススイッチ制御に関する研究	1996			
吉田 耕作	近代解析の研究	1967	柳田 敏雄	生物運動の分子機械の直接操作と観測	1998			
宮本 又次	小野組の研究	1971	長田 重一	アポトーシスの分子機構の研究	2000			
高崎 直道	如来蔵思想の形成	1975	番良 静男	自然免疫による病原体認識とシグナル伝達	2007			
			難波 啓一	生体超分子の立体構造と機能の解明	2012			

日本学士院賞

氏名	受賞対象研究、研究分野等	受賞年	氏名	受賞対象研究、研究分野等	受賞年
眞島 利行	漆の主成分に関する研究	1917	石本 雅男	無過失損害賠償責任原因論 -ローマ法におけるCulpa levissimaの比較法学的研究-	1984
功力 金二郎	抽象空間の研究	1939	荒田 吉明	超高エネルギー密度熱源の開発と熱加工への適用	1985
仁田 勇	化学構造のX線的研究	1943	山村 雄一	細胞性免疫とその制御	1985
小竹 無二雄	毒物の化学的研究	1944	豊島 久真男	サルコ・ファミリーがん遺伝子の研究	1987
小谷 正雄	磁電管の発振機構と立体回路の理論的共同研究	1948	森本 信男	鉱物の固容体形成の新機構の発見	1994
久留 勝	脊髄後角内に於ける痛温度覚伝導に関する細胞群の決定に関する研究	1949	藤田 廣志	金属塑性変形の超高電圧電子顕微鏡 その場観察による研究	1994
正田 建次郎	最近の抽象代数学に於ける研究	1949	菅 宏	凝相における相変化と緩和過程	1995
吉川 秀男	昆虫類を材料とする遺伝生化学的研究	1952	金森 順次郎	遷移金属合金の強磁性理論	1996
中山 正	環論及び表現論に関する研究	1954	池原 森男	核酸の合成と機能に関する研究-合成ras遺伝子関連の 研究を中心として	1996
赤堀 四郎	蛋白質を構成するアミノ酸の結合状態に関する研究	1955	大塚 榮子		
千谷 利三	安定同位元素に関する研究	1956	熊谷 信昭	新しい電磁波論の開拓と電磁波導波伝送への応用に 関する基礎的研究	1997
長沢 信寿	アウグスティヌス哲学の研究	1961	北村 幸彦	KIT受容体を介した肥満細胞とカハール介在細胞の 分化と癌化	2005
市原 硬 須田 正巳	二、三アミノ酸の中間代謝及びこれに関する酵素の研究	1961	又賀 昇	光励起分子の分子間相互作用と化学反応ダイナミクスの研究	2006
早石 修	酸素添加酵素の研究	1967	大竹 文雄	日本の不平等	2008
奥貫 一男	チトクローム系の研究	1968	長谷川 晃	ファイバー中の光ソリトンの発見とプラズマ乱流の 自己組織化に関する研究	2008
上尾 庄次郎	ヒガンバナの有毒塩基成分の化学的研究	1970	村井 眞二	遷移金属分子触媒による有機化合物の骨格形成法と 修飾法の開拓	2010
神谷 宣郎	植物細胞の原形質流動及び水分生理の研究	1971	村橋 俊一		
野村 真康	リボソーム再構成に関する研究	1972	谷口 直之	糖鎖生物学、とくにN-結合型糖鎖の病気での重要性に ついての先駆的業績	2011
川井 直人	超高圧・高温下における地球物質の実験的研究	1973	二井 将光	生物エネルギー生産(転換)機構の研究	2012
西山 善次	合金のマルテンサイト変態に関する研究	1973	坂口 志文	制御性T細胞による免疫応答制御	2012
久保田 尚志	植物の苦味物質に関する研究	1975			
関 集三	固体の構造熱力学的研究	1976			
佐藤 幹夫	超函数の理論及びその応用	1976			
鈴木 友二	キニン系の蛋白質化学とその制御に関する研究	1979			

紫綬褒章

氏名	受賞時の所属部局、出身部局	受章年	氏名	受賞時の所属部局、出身部局	受章年	氏名	受賞時の所属部局、出身部局	受章年
松川 達夫	工学部	1959	三隅 二不二	人間科学部	1989	有本 卓	基礎工学部	2000
千谷 利三	理学部	1965	小泉 光恵	産業科学研究所	1990	青木 保	人間科学部	2000
寺澤 一雄	工学部	1970	森本 信男	産業科学研究所	1990	北村 幸彦	生命機能研究科	2001
藤野 恒三郎	微生物病研究所	1971	伊達 宗行	理学部	1991	猪木 武徳	経済学部	2002
菅田 栄治	工学部	1971	山中 千代衛	工学部	1992	川合 知二	産業科学研究所	2003
伏見 康治	理学部	1973	吉森 昭夫	基礎工学部	1992	高井 義美	医学部	2003
植松 時雄	基礎工学部	1974	坪村 宏	基礎工学部	1993	武田 佐知子	大阪外国語大学外国語学部	2003
吉永 弘	工学部	1975	藤田 廣志	工学部	1993	鷲田 清一	文学部	2004
釜洞 醇太郎	微生物病研究所	1975	原 富之	理学部	1994	審良 静男	微生物病研究所	2005
鈴木 友二	蛋白質研究所	1976	又賀 昇	基礎工学部	1995	谷口 直之	医学部	2005
宮地 徹	医学部	1977	濱川 圭弘	基礎工学部	1995	平野 俊夫	生命機能研究科	2006
湯川 泰秀	産業科学研究所	1977	山根 壽己	工学部	1996	原田 明	理学部	2006
熊谷 尚夫	経済学部	1978	宮本 重徳	理学部	1996	中村 敏一	医学系研究科	2006
奥野 良臣	微生物病研究所	1978	村田 一郎	理学部	1996	松澤 佑次	医学部	2006
木下 和夫	経済学部	1983	川島 康生	医学部	1997	河田 聡	工学研究科	2007
石丸 壽保	産業科学研究所	1984	園田 昇	工学部	1997	大貫 惇睦	理学研究科	2008
櫻井 洸	産業科学研究所	1985	松原 謙一	細胞生体工学センター	1997	増原 宏	工学研究科	2008
大澤 文夫	基礎工学部	1985	森田 善一郎	工学部	1998	中嶋 英雄	産業科学研究所	2009
橋本 初次郎	工学部	1985	京極 好正	蛋白質研究所	1998	森田 清三	工学研究科	2011
池原 森男	薬学部	1986	塩原 勉	人間科学部	1998	西尾 章治郎	情報科学研究科	2011
曲直部 壽夫	医学部	1987	中村 晃	理学部	1998	福住 俊一	工学研究科	2011
難波 進	基礎工学部	1988	信多 純一	文学部	1999	花岡 文雄	生命機能研究科	2012
塩川 二郎	工学部	1988	園田 孝夫	医学部	1999	北岡 良雄	基礎工学研究科	2012
稲田 獻一	社会経済研究所	1989	山崎 正和	文学部	1999	久保 司郎	工学研究科	2012

組織

大阪大学

学部

文 学 部
人 間 科 学 部
外 国 語 学 部
法 学 部
経 済 学 部
理 学 部
医 学 部
歯 学 部
薬 学 部
工 学 部
基 礎 工 学 部

- 病院 (昭和6.5)
- 動物実験施設 (昭和61.4)
- 病院 (昭和28.8)
- 歯科技工士学校 (昭和35.4)

大学院

文 学 研 究 科
人 間 科 学 研 究 科
法 学 研 究 科
経 済 学 研 究 科
理 学 研 究 科
医 学 系 研 究 科
歯 学 研 究 科
薬 学 研 究 科
工 学 研 究 科
基 礎 工 学 研 究 科
言 語 文 化 研 究 科
国 際 公 共 政 策 研 究 科
情 報 科 学 研 究 科
生 命 機 能 研 究 科
高 等 司 法 研 究 科
大阪大学・金沢大学・浜松医科大学・千葉大学・福井大学 連 合 小 児 発 達 学 研 究 科

- 比較行動実験施設 (昭和55.4)
- 法政実務連携センター (平成13.4)
- 構造熱科学研究センター (平成21.4)
- 基礎理学プロジェクト研究センター (平成23.10)
- 共同研究実習センター (昭和62.5)
- ツインリサーチセンター (平成21.4)
- PET分子イメージングセンター (平成22.6)
- 口腔科学フロンティアセンター (平成23.7)
- 薬用植物園 (昭和49.4)
- 実践薬学教育研究センター (平成18.4)
- 創薬センター (平成25.4)
- 超精密科学研究センター (平成13.4)
- アトミックデザイン研究センター (平成25.4)
- フロンティア研究センター (平成18.4)
- サステナビリティ・デザイン・オンサイト研究センター (平成19.10)
- 高度人材育成センター (平成20.4)
- 構造・機能先進材料デザイン教育研究センター (平成20.4)
- 子どものこころの分子統御機構研究センター (平成22.4)

附置研究所

微 生 物 病 研 究 所
産 業 科 学 研 究 所
蛋 白 質 研 究 所
社 会 経 済 研 究 所
接 合 科 学 研 究 所

- 感染動物実験施設 (昭和42.6)
- 感染症DNAチップ開発センター (平成16.4)
- 難治感染症対策研究センター (平成17.4)
- 遺伝情報実験センター (平成17.4)
- 感染症国際研究センター (平成17.4)
- 生体応答遺伝子解析センター (平成22.4)
- 産業科学ナノテクノロジーセンター (平成14.4)
- 総合解析センター (平成21.4)
- 量子ビーム科学研究施設 (平成21.4)
- 産業科学連携教育推進センター (平成21.4)
- 国際共同研究センター (平成21.4)
- 蛋白質解析先端研究センター (平成24.4)
- 行動経済学研究センター (平成16.4)
- スマートプロセス研究センター (平成15.4)

附属図書館

総合図書館	(昭和6.5)
生命科学図書館	(平成4.4)
理工学図書館	(昭和45.10)
外国学図書館	(平成19.10)

学内共同教育研究施設

低温センター	(昭和46.4)
超高圧電子顕微鏡センター	(昭和49.4)
ラジオアイソトープ総合センター	(昭和57.4)
環境安全研究管理センター	(平成16.4)
国際教育交流センター	(平成22.4)
生物工学国際交流センター	(平成7.4)
極限量子科学研究センター	(平成18.4)
太陽エネルギー化学研究センター	(平成13.4)
総合学術博物館	(平成14.4)
保健センター	(平成16.4)
臨床医工学融合研究教育センター	(平成16.11)
コミュニケーションデザインセンター	(平成17.4)
金融・保険教育研究センター	(平成18.4)
科学教育機器リノベーションセンター	(平成19.4)
グローバルコラボレーションセンター	(平成19.4)
日本語日本文化教育センター	(平成19.10)
環境イノベーションデザインセンター	(平成22.10)
ナノサイエンスデザイン教育研究センター	(平成20.12)
知的財産センター	(平成22.4)

全国共同利用施設

核物理研究センター	(昭和46.4)
サイバーメディアセンター	(平成12.4)
レーザーエネルギー学研究センター	(平成16.4)

世界トップレベル研究拠点

免疫学フロンティア研究センター	(平成19.10)
-----------------	-----------

融合研究拠点

大阪大学・情報通信研究機構脳情報通信融合研究センター	(平成25.4)
----------------------------	----------

学内組織

未来戦略機構	(平成23.12)
全学教育推進機構	(平成24.4)
産学連携本部	(平成23.4)
学際融合教育研究センター	(平成21.4)
教育学習支援センター	(平成25.6)
21世紀懐徳堂	(平成20.4)
適塾記念センター	(平成23.4)
安全衛生管理部	(平成16.4)
環境・エネルギー管理部	(平成23.6)
キャンパスライフ支援センター	(平成25.6)

海外拠点

サンフランシスコ教育研究センター	[米 国]	(平成16.4)
グローニンゲン教育研究センター	[オランダ]	(平成17.4)
バンコク教育研究センター	[タイ]	(平成18.4)
上海教育研究センター	[中 国]	(平成22.2)

中之島センター	(平成16.4)
---------	----------

本部事務機構

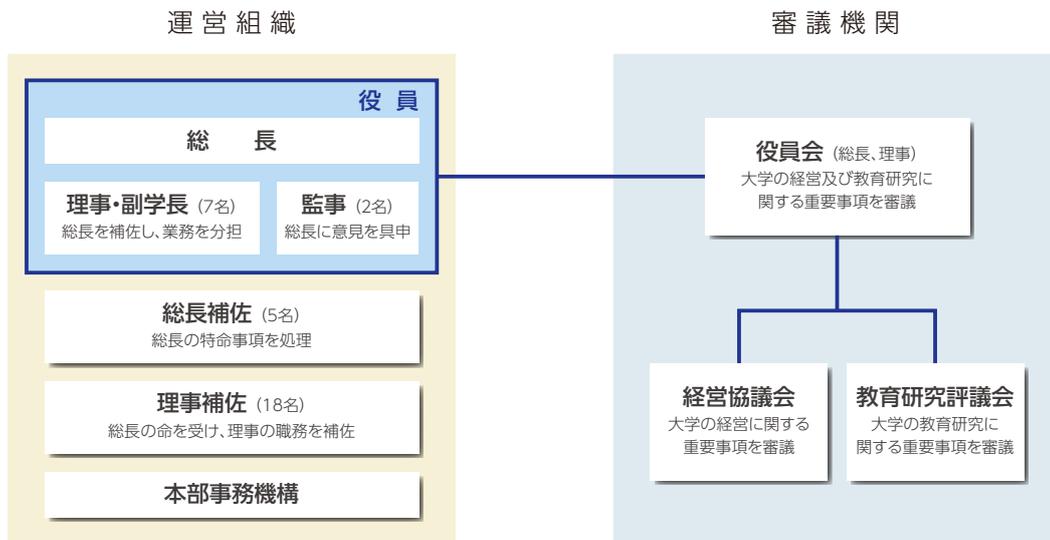
【歴代総長】

初代総長	長岡 半太郎	昭和 6年 5月 1日就任
2代総長	楠本 長三郎	9年 6月22日就任
3代総長	真島 利行	18年 2月 3日就任
4代総長	八木 秀次	21年 2月 2日就任
5代総長	今村 荒男	21年 12月28日就任
6代総長	正田 建次郎	29年 12月28日就任
7代総長	赤堀 四郎	35年 12月17日就任
8代総長	岡田 實	41年 12月17日就任
9代総長	釜洞 醇太郎	44年 8月26日就任

10代総長	若槻 哲雄	昭和 50年 8月26日就任
11代総長	山村 雄一	54年 8月26日就任
12代総長	熊谷 信昭	60年 8月26日就任
13代総長	金森 順次郎	平成 3年 8月26日就任
14代総長	岸本 忠三	9年 8月26日就任
15代総長	宮原 秀夫	15年 8月26日就任
16代総長	鷲田 清一	19年 8月26日就任
現 総長	平野 俊夫	23年 8月26日就任

【運営体制】

(平成25年6月1日現在)



【役員・総長補佐・理事補佐】

(平成25年6月1日現在)

総長	理事・副学長	監事	総長補佐	理事補佐	
平野 俊夫	恵比須 繁之 東島 清 馬場 章夫 相本 三郎 阿部 顕三 尾山 眞之助 江口 太郎	関 順一郎 山崎 優	江川 温 瀧原 圭子 星野 俊也 宮崎 純一 吉川 秀樹	池 道彦 大竹 文雄 小川 哲生 尾崎 雅則 尾上 孝雄 金倉 讓 川端 亮 北岡 良雄 下田 正	茶園 成樹 堂目 卓生 中谷 和彦 中村 春木 西田 幸二 原田 彰宏 正城 敏博 三成 賢次 南埜 宜俊

【経営協議会学外委員】

(平成25年6月1日現在)

氏名	現職	氏名	現職
大竹 伸一	西日本電信電話株式会社 取締役相談役	城野 政弘	元福井工業大学学長
川島 康生	独立行政法人国立循環器病研究センター 名誉総長	角 和夫	阪急阪神ホールディングス株式会社 代表取締役社長
河田 悌一	日本私立学校振興・共済事業団 理事長、前関西大学学長	竹内 敬介	日揮株式会社 代表取締役会長兼CEO
川名 紀美	ジャーナリスト	手代木 功	塩野義製薬株式会社 代表取締役社長
小林 栄三	伊藤忠商事株式会社 取締役会長	中村 邦夫	パナソニック株式会社 相談役
近藤 純子	東洋炭素株式会社 代表取締役会長	野村 正朗	公益財団法人リそなアジア・オセアニア財団 理事長
佐藤 行雄	公益財団法人日本国際問題研究所 副会長	森 詳介	関西電力株式会社 取締役会長

【学 部】

学 部	学 科	学 科 目
文 学 部	人 文 学 科	人文基礎学、歴史文化学、地域文化学、言語基礎学、文学表現学、芸術文化学
人 間 科 学 部	人 間 科 学 科	行動学、社会学、教育学、グローバル人間学
外 国 語 学 部	外 国 語 学 科	中国語、朝鮮語、モンゴル語、インドネシア語、フィリピン語、タイ語、ベトナム語、ビルマ語、ヒンディー語、ウルドゥー語、アラビア語、ペルシア語、トルコ語、スワヒリ語、ロシア語、ハンガリー語、デンマーク語、スウェーデン語、ドイツ語、英語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、日本語
法 学 部	法 学 科	公法学、私法学、国際関係法学、基礎法学、政治学
	国 際 公 共 政 策 学 科	グローバル法学、グローバルガバナンス、グローバルエコノミー
経 済 学 部	経 済 ・ 経 営 学 科	理論経済、経済政策、経済史・経営史、日本経済、企業経済・会計、マネジメント・サイエンス、経営情報
理 学 部	数 学 科	数学
	物 理 学 科	物理学、宇宙地球科学
	化 学 科	化学、高分子学
	生 物 科 学 科	生物科学
医 学 部	医 学 科	機能形態学、情報生理学、情報薬理学、病態情報内科学、生化学・分子生物学、遺伝医学、分子制御内科学、加齢医学、微生物学、病理病態学、分子病態内科学、皮膚科学、生体情報医学、神経機能医学、小児発達医学、生体機能調節医学、機能制御外科学、病態制御外科学、器官制御外科学、神経機能制御外科学、感覚器外科学、社会環境医学、法医学
	保 健 学 科	基礎看護学、母性・小児看護学、成人・老人看護学、地域看護学、医用物理学、医用工学、基礎生体情報学、病態生体情報学
歯 学 部	歯 学 科	口腔形態情報学、口腔機能生理学、口腔分子生化学、口腔分子薬理学、口腔病理病態学、口腔微生物学、口腔医用工学、口腔予防保健学、口腔感染免疫治療学、口腔機能再建補綴学、口腔病態外科学、顎顔面発育制御学、小児歯科保健学、顎口腔麻酔学、顎口腔放射線学
薬 学 部	薬 学 科	医療・生命薬学
	薬 科 学 科	分子・有機科学、生命・情報薬学
工 学 部	応 用 自 然 科 学 科	応用化学、応用生物工学、精密科学、応用物理学
	応 用 理 工 学 科	機械工学、マテリアル生産科学
	電 子 情 報 工 学 科	電気電子工学、情報通信工学
	環 境 ・ エ ネ ル ギ ー 工 学 科	環境・エネルギー工学
	地 球 総 合 工 学 科	船舶海洋工学、社会基盤工学、建築工学
基 礎 工 学 部	電 子 物 理 科 学 科	エレクトロニクス、物性物理科学
	化 学 応 用 科 学 科	合成化学、化学工学
	シ ス テ ム 科 学 科	機械科学、知能システム学、生物工学
	情 報 科 学 科	計算機科学、ソフトウェア科学、数理科学

[大学院]

○ — 学内他部局との協力講座
● — 学外研究機関との連携講座(分野)

研究科	専攻	講座等	学位名
文学研究科	文化形態論	広域文化形態論、哲学、日本学、日本史、世界史、考古学、人文地理学	修士(文学) 博士(文学)
	文化表現論	広域文化表現論、国文学・東洋文学、西洋文学・語学、日本語学、芸術学、芸術史	
	文化動態論	共生文明論、アート・メディア論、文学環境論、言語生態論	修士(文学)
人間科学研究科	人間科学	先端人間科学、人間行動学、行動生態学、社会環境学、基礎人間科学、臨床教育学、教育環境学、●安全工学心理学	修士(人間科学) 博士(人間科学)
	グローバル人間学	人間開発学、地域研究	
法学研究科	法学・政治学	総合企画法政、比較法政、公共法政、●地域開発、●政策研究	修士(法学) 博士(法学)
経済学研究科	経済学	理論分析、政策分析、歴史分析、○数理経済学、○計量経済学	修士 (経済学、応用経済学、経営学)
	政策	応用経済、○市場システム、●産官学プロジェクト	博士 (経済学、応用経済学、経営学)
	経営学系	モデル解析、経営情報、技術経営、ビジネス	
理学研究科	数学	代数学、幾何学、解析学、大域数理学、実験数学、応用数理学、●統合数理科学	
	物理学	物性物理学、素粒子・核物理学、基礎物理学、量子物理学、学際物理学、○素粒子・核反応学、○フオーク核物理学、○加速計測学、○極限科学、○先端光科学、●先端物理学	
	化学	無機化学、物理化学、有機化学、学際化学、○機能物質合成化学、○無機化合物機能学、○生体分子構造学、●高機能材料物性学、●機能ペプチド学	修士(理学) 博士(理学)
	生物科学	分子細胞生物学、細胞生物学、適応生物学、相関生物学、生物物質学、○蛋白質機能学、○細胞情報制御学、●細胞機能構造学、●生命誌学、●生物分子情報学	
	高分子科学	高分子合成・反応化学、高分子構造・物性・機能論、高分子凝集系科学、○情報高分子科学	
	宇宙地球科学	宇宙惑星進化学、自然物質学、極限物質学	
医学系研究科	医学	解剖学、生理学、神経科学、生化学・分子生物学、病理学、薬理学、分子治療学、医用工学、社会環境医学、感染免疫医学、遺伝医学、健康スポーツ科学、内科学、情報統合医学、放射線統合医学、外科学、生体統御医学、器官制御外科学、脳神経感覚器外科学、○情報機能医学、○治療情報学、○生体防御医学、○健康増進医学、○感染制御医学、●発生・再生医学、●病態制御基礎医学、●加齢機構学、●免疫アレルギー医学、●免疫・感染制御学、●循環微小画像医学、●細胞認識機構学、●腫瘍感染免疫学、●分子イメージング解析学、●循環制御医学、●腫瘍医学、●医薬品医療機器評価学、●エイズ先端医療学	博士(医学)
	医科学	—	修士(医科学、公衆衛生学)
	保健学	看護実践開発科学、生命育成看護科学、総合ヘルスプロモーション科学、機能診断科学、医用物理工学、生体情報科学、●分子イメージング学、●血栓症診断学、●粒子線治療学、●画像誘導放射線治療学	修士(保健学、看護学) 博士(保健学、看護学)
歯学研究科	口腔科学	顎口腔病病因態制御学、顎口腔機能再建学、高次脳口腔機能学、口腔分子感染制御学、口腔分子免疫制御学、口腔分化発育情報学、○顎口腔病態検査治療学、○療護歯科保健学、●頭蓋顎顔面発生発育機構学、●次世代口腔医療創薬開発科学	博士(歯学)
薬学研究科	創成薬学	医薬品創製化学、生命分子薬科学、環境衛生薬学、○薬用資源学、○細胞生物学、●医薬基盤科学	修士(薬科学) 博士(薬科学)
	医療薬学	臨床薬物治療科学、生命医療薬物科学、医薬品情報科学、○医療薬学、○伝統医薬解析学、●分子生理病態学、●環境病病因態学、●薬事戦略講座、●レギュラトリーサイエンス講座	博士(薬学)
工学研究科	生命先端工学	物質生命工学、生物工学、○生体膜分子学、○応用微生物学、○分子微生物学	
	応用化学	分子創成化学、物質機能化学、○分子素子化学、○励起反応化学、○環境化学、○量子分子工学、○複合材料工学	修士(工学) 博士(工学)
	精密科学・応用物理学	精密科学、応用物理学、○量子デバイス工学、○超伝導フォトニックデバイス	
	知能・機能創成工学	先導的融合工学	

研究科	専攻	講座等	学位名
工学研究科	機械工学	複合メカニクス、マイクロ機械科学、知能機械学、統合デザイン工学、 ○熱・量子加工プロセス学、○複合化機構学	修士(工学) 博士(工学)
	マテリアル生産科学	材料物性学、材料エネルギー理工学、構造機能制御学、材料機能化プロセス工学、生産プロセス、 構造化デザイン、システムインテグレーション、○材料機能物性研究、○金属材料プロセス研究、 ○物質極微プロセス研究、○機能性診断学、○エネルギー変換機構学、○溶接・接合機能設計、 ○プラズマ工学、○スマートビームプロセス工学、○生産・加工プロセス解析、○プラズマ物性、 ○エネルギー形態制御	
	電気電子情報工学	システム・制御工学、先進電磁エネルギー工学、通信ネットワーク工学、通信システム工学、 光電波工学、創製エレクトロニクス材料、エレクトロニクスデバイス、集積エレクトロニクス、 ○レーザーエネルギー学、○知能システム工学、○光・電子材料科学、○極限科学・量子科学	
	環境・エネルギー工学	量子エネルギー工学、共生エネルギーシステム学、環境資源・材料学、環境システム学、 共生環境デザイン学、○放射線物性学、○量子ビーム材料プロセス、○レーザー応用工学	
	地球総合工学	船舶工学、海洋システム工学、社会基盤工学、社会システム学、建築構造学、建築・都市デザイン学、 ○数理解析学、○信頼性設計学	
	ビジネスエンジニアリング	テクノロジーデザイン、技術知マネジメント	
基礎工学研究科	物質創成	電子関連物理、ナノ量子物理、合成化学、機能化学、反応化学工学、環境・エネルギーシステム、 生物プロセス工学、新物質創製、微小物質ダイナミクス、○極限量子科学、○太陽エネルギー化学、 ○量子物性科学、●量子機能融合、●人間社会発達環境学	修士(工学) 博士(工学、理学)
	機能創成	熱流体力学、材料構造工学、推進工学、制御生産情報、生体機械科学、生物工学、生体計測学、 ●デザインバイオニクス	
	システム創成	固体電子工学、量子機能エレクトロニクス、光エレクトロニクス、システム理論、知能システム構成論、 数理モデル、統計数理、数理計量ファイナンス、システム数理、○極限エレクトロニクス、 ●先端センシングエレクトロニクス	
言語文化研究科	言語文化	言語文化比較交流論、言語コミュニケーション論、言語情報科学、言語文化システム論、言語認知科学、 現代超域文化論、言語文化教育論	修士 (言語文化学、日本語・日本文化) 博士 (言語文化学、日本語・日本文化)
	言語社会	アジアI、アジアII、アジアIII、アジア・アフリカ、ヨーロッパI、ヨーロッパII、ヨーロッパ・アメリカI、 ヨーロッパ・アメリカII	
	日本語・日本文化	日本語・日本文化	
国際公共政策研究科	国際公共政策	国際公益システム、システム統合、○国際通商関係、○国際システム形成、●グローバルリーダーシップ	修士(国際公共政策) 博士(国際公共政策)
	比較公共政策	現代日本法経システム、比較公共政策、○比較企業行動、○比較経済発展	
情報科学研究科	情報基礎数学	組合せ数学、離散幾何学、離散構造学、応用解析学、大規模数学、○コンピュータ実験数学	修士 (情報科学、理学、工学) 博士 (情報科学、理学、工学)
	情報数理学	計画数理学、非線形数理、情報フォトリクス、システム数理学、○知能アーキテクチャ	
	コンピュータサイエンス	アルゴリズム設計論、ソフトウェア設計学、ソフトウェア工学、並列処理工学、○知能メディアシステム	
	情報システム工学	集積システム設計学、情報システム構成学、集積システム診断学、ディペンダビリティ工学、 ○メディア統合環境、●高機能システムアーキテクチャ	
	情報ネットワーク学	先進ネットワークアーキテクチャ、インテリジェントネットワーキング、情報流通プラットフォーム、 モバイルコンピューティング、○ユビキタスネットワーク、●サイバーコミュニケーション	
	マルチメディア工学	マルチメディアデータ工学、セキュリティ工学、ヒューマンインタフェース工学、ビジネス情報システム、 ○応用メディア工学、●マルチメディアエージェント	
	バイオ情報工学	ゲノム情報工学、代謝情報工学、バイオシステム解析学、共生ネットワークデザイン学、人間情報工学	
生命機能研究科	生命機能	ナノ生体科学、細胞ネットワーク、時空生物学、個体機能学、脳神経工学、生体ダイナミクス、 ○生命理工学、●免疫システム学、●脳統御機構学、●蛋白質機能情報科学、●定量発生生物学	修士 (生命機能学、理学、工学) 博士 (生命機能学、理学、工学)
高等司法研究科	法務	-	法務博士(専門職)
大阪大学・金沢大学・ 浜松医科大学・千葉大学・ 福井大学 連合小児発達学研究所	小児発達学	こころの発達神経科学、こころの相互認知科学、こころの発達健康科学、こころの認知行動科学、 こころの形成発達科学	博士(小児発達学)

【 附置研究所 】



□ 微生物病研究所

微生物病、免疫、がん及び特定の難治疾患に関する基礎及びその応用研究を行うことを目的とする。

- 感染機構研究部門
- 生体防御研究部門
- 環境応答研究部門



□ 産業科学研究所

産業に必要となる先端的な事項で材料、情報及び生体に関するものの総合研究を目的とする。

- 第1研究部門(情報・量子科学系)
- 第2研究部門(材料・ビーム科学系)
- 第3研究部門(生体・分子科学系)
- 新産業創成研究部門
- 特別プロジェクト研究部門



□ 蛋白質研究所

生命の基礎物質としての蛋白質の本質を解明する研究を深化させることを主な目的とする。

- 蛋白質化学研究部門
- 蛋白質構造生物学研究部門
- 蛋白質高次機能学研究部門
- 蛋白質国際統合研究部門(客員部門)



□ 社会経済研究所

現代の経済問題を理論的、実証的に研究することを目的とする。

- 理論経済学部門
- 実証経済学部門
- 政策研究部門



□ 接合科学研究所

循環型社会に適した新しいコンセプトによる溶接・接合の学問体系を構築し、その理論の生産設計・製作への適用、溶接・接合構造物の保持・延命に関する科学技術の確立を目的とする。

- 加工システム研究部門
- 接合機構研究部門
- 機能評価研究部門

□ 共同利用・共同研究拠点

大学に附置される研究所・研究施設のうち全国の関連研究者が共同利用し共同研究を行うものとして我が国の学術の発展に特に資するものについて、文部科学大臣が大学からの申請に基づき、「共同利用・共同研究拠点」として認定する制度が平成20年7月に創設されました。本学では、これらの5つの附置研究所及び3つの全国共同利用施設が共同利用・共同研究拠点として認定されています。

【 全国共同利用施設 】



□ 核物理研究センター

原子核物理学の基礎研究を行うとともに、全国共同利用施設として全国の大学その他の研究機関の研究者の共同利用に供することを目的とする。

- 核物理実験研究部門
- 核物理理論研究部門
- 加速器研究部門



□ サイバーメディアセンター

全国共同利用施設として、情報処理技術基盤の整備、提供及び研究開発、情報基盤に支えられた高度な教育の実践並びに知的資源の電子的管理及び提供を行うことを目的とする。

- 情報メディア教育研究部門
- マルチメディア言語教育研究部門
- 大規模計算科学研究部門
- コンピュータ実験科学研究部門
- サイバーコミュニティ研究部門
- 先端ネットワーク環境研究部門
- 応用情報システム研究部門
- 全学支援企画部門



□ レーザーエネルギー学研究センター

レーザーエネルギー学の基礎及び応用に関する研究・教育を推進するとともに、その施設を学内、他の大学又は研究機関等の研究者の共同利用に供することを目的とする。

- パワーフォトリクス研究部門
- レーザー核融合学研究部門
- 高エネルギー密度科学研究部門
- レーザーテラヘルツ研究部門
- 光・量子放射学研究部門

【学内共同教育研究施設】

施設名	設置目的・[部門名]
低温センター	ヘリウム液化装置を含む学内共同利用の低温施設を整備してこれを管理運営し、学内各部局研究者の共同利用に供するとともに、学内の低温施設の整備及び運営を円滑にするため、センターを利用する部局の連絡調整を図ることを目的とする。
超高圧電子顕微鏡センター	超高圧電子顕微鏡及びその関連設備を整備運用して、超高圧電子顕微鏡による応用研究及びその周辺技術の開発を共同的に推進することを目的とする。
ラジオアイソトープ総合センター	本学における放射性同位元素等の安全管理に必要な共通の業務を行うとともに、その施設を本学の教員その他の者の共同利用に供し、もって放射性同位元素等の使用に係る教育研究の進展に資することを目的とする。
環境安全研究管理センター	環境保全及び安全管理に関する研究及び教育を行うとともに、環境保全及び安全管理対策を立案し、及び実施を行うことを目的とする。
国際教育交流センター	国際教育及び国際交流に関する企画・運営に参画するとともに、国際教育及び国際交流の実践並びにこれらに関連するテーマに係る調査及び研究を通じて本学の国際化を推進することを目的とする。 [調査・企画チーム、日本語教育研究チーム、交流アドバイジング研究チーム、短期プログラム開発研究チーム、サポートオフィス]
生物学国際交流センター	生物学の基礎と応用に関する研究を行うとともに、これに関連する領域について諸外国との学術交流を推進することを目的とする。
極限量子科学研究センター	学内外の教育研究組織及び産業界と連携し、極限量子科学に関する基礎及び応用の研究を行うとともに、先端科学技術の融合を図ることを目的とする。 [量子基礎科学大部門、先端科学技術融合大部門]
太陽エネルギー化学研究センター	太陽エネルギーによる化学的な変換を研究するとともに、新しい太陽エネルギーの利用技術の開発を推進することを目的とする。
総合学術博物館	学術標本資料の収蔵、展示、公開及び教育研究の支援を行うとともに、次に掲げる調査研究及び業務を行うことを目的とする。 (1) 学術標本資料の収集及びその活用に関すること。(2) 学術標本資料の解析及びその情報化に関すること。 [研究・教育部(資料基礎研究系、資料先端研究系、資料情報研究系)、資料部]
保健センター	保健管理に関する専門的業務及び保健管理についての専門的調査、研究を行い、本学における学生及び職員の健康教育及び健康の保持、増進を図ることを目的とする。
臨床医工学融合研究教育センター	学内外の組織及び研究者と連携し、臨床医学の飛躍的発展のための臨床医工学・情報科学融合領域に関する各種研究プロジェクトを実施するとともに、医学・生命科学に精通した工学・情報科学者及び工学・情報科学に精通した医学者の養成を図ることを目的とする。 [予測医工学情報学研究部門、創成医工学情報学研究部門、橋渡し医工学情報学研究部門、教育部門、地域連携部門、産学連携部門]
コミュニケーションデザインセンター	全学の大学院学生を主たる対象としたコミュニケーション教育及び高度教養教育並びにこれに関連する研究及び社会活動を行うことを目的とする。 [臨床部門、科学技術部門、アート部門、コミュニティ部門、コミュニケーションデザイン部門]
金融・保険教育研究センター	学内外の組織及び研究者と連携することにより、社会・制度的側面と数理・技術的側面の双方に精通した数理ファイナンス、金融経済学、金融工学及び保険科学分野の研究者及び実務家の養成を図るとともに、当該文理学際融合領域諸分野の研究交流を推進することを目的とする。
科学教育機器リノベーションセンター	大阪大学における工作関連機器、装置等を集中的に管理運営して、本学の教員その他の者の共同利用に供するとともに、研究又は教育に必要な機器、装置等の全学的な有効活用に関する業務を行うことにより、これらの再利用及び共同利用の促進を図り、もって教育研究環境の計画的かつ効率的な整備充実に資することを目的とする。
グローバルコラボレーションセンター	大阪大学による国際貢献の発展を目指して、国際協力と共生社会に関する研究を推進し、真の国際性を備えた人材の養成のための教育を行うとともに、その成果等に基づく社会活動を実践することを目的とする。 [教育開発部門、研究推進部門、実践支援部門、プロセス評価室、海外体験型教育企画オフィス]
日本語日本文化教育センター ※(教育関係共同利用拠点)	外国人留学生等に対する日本語及び日本文化等の教育並びにこれに必要な調査研究を実施するとともに、国際的な教育連携を図り、世界の日本語日本文化教育の充実発展に寄与することを目的とする。
環境イノベーションデザインセンター	学内外の組織及び研究者と連携することにより、多様な研究成果を環境・エネルギー分野において戦略的に融合させ、持続可能な社会の実現に向けた研究を推進するとともに、環境イノベーションを主導できる人材の育成を図ることを目的とする。 [環境イノベーションデザイン企画部門、環境イノベーション人材育成部門、低炭素キャンパス実践部門、地域・国際環境交流部門]
ナノサイエンスデザイン教育研究センター	学内外の組織及び研究者と連携し、ナノサイエンス・ナノテクノロジー分野の飛躍的発展のために理工系の横断・連携・融合領域に関する各種教育研究プログラムを企画し、及び実施するとともに、ナノサイエンス・ナノテクノロジー分野に精通した理工系の研究者及び技術者の人材育成を図ることを目的とする。 [学際教育デザインコーディネーション部門、学際融合リサーチトレーニングデザイン部門、社会連携デザイン部門、グローバルネットワークデザイン部門、計算機マテリアルデザインコア部門、物質・分析・機能デザインコア部門]
知的財産センター	全学的な知的財産教育を推進することにより、知的財産を戦略的に活用し発展させることのできる知的財産法分野の人材を養成するとともに、知的財産に関する教育・研究基盤システムを構築し、もって知的財産教育の拡充及び産学連携の推進を図ることを目的とする。 [パテント部門、デザイン部門、ブランド部門、ノウハウ部門、コピーライト部門、プランニング部門]

※教育関係共同利用拠点

多様化する社会と学生のニーズに応えつつ質の高い教育を提供していくために、各大学の有する人的・物的資源の共同利用等を推進するものとして、大学教育全体として多様かつ高度な教育を展開していくものについて、文部科学大臣が大学からの申請に基づき、「教育関係共同利用拠点」として認定する制度が平成21年9月に創設されました。本学では日本語日本文化教育センターが教育関係共同利用拠点として認定されています。

【学内組織等】

免疫学フロンティア研究センター

「目に見える拠点形成」を目的とした、文部科学省の「世界トップレベル研究拠点プログラム」に採択され、世界的な免疫学研究者である審良静男教授を拠点長として平成19年10月に発足。免疫学とイメージング(画像化)技術、さらにバイオインフォマティクス(生体情報学)との融合研究を通して、動物生体内における免疫反応の可視化・予測により、免疫系の全貌を明らかにすることを目的とする。



産学連携本部

大学に産業創出拠点を導く「Industry on Campus」構想の下、本学の卓越した研究と教育に基づき、「共同研究講座」、「協働研究所」、「協働ユニット」の創設など、産業界との多様な連携を推進して社会と世界の発展に寄与することを目的とする。



学際融合教育研究センター

複眼的視野を有する指導的人材の養成を図るため、社会ニーズに基づく学際融合教育プログラムの開発、大学院副専攻／高度副プログラム及び科目等履修生高度プログラムを中心とする学際融合教育の推進と支援、並びに副専攻教育制度の構築を図ることを目的とする。

教育学習支援センター

学生の主体的な自主学習の促進及びそれに導く教育方法の改善並びにキャリア形成のための教育プログラムの研究開発を行うことにより教育学習支援機能を強化し、もって大阪大学の教育の高度化に資することを目的とする。

21世紀懐徳堂

大阪大学の社会学連携の情報を集約し広報するとともに、大阪大学の精神的源流である「懐徳堂」で尊重された広範な分野にわたる学び合いの精神を汲み、公開講座、サイエンスカフェ、シンポジウムなどを企画・運営し、市民のみならずと学生、教職員が出会い、能動的に学び合う場づくりを展開することを目的とする。

全学教育推進機構

学部共通教育、大学院横断教育並びに全学の言語教育及び海外教育の実施に関する企画及び運営を行うとともに、大学教育に関する実践的な研究を行い、大学教育の質の向上及び社会に求められる人材を育成する機能の強化を図ることを目的とする。

[企画開発部(学部共通教育部門、大学院横断教育部門、言語教育部門、海外教育部門、スポーツ・健康教育部門、教育学習支援部門)、実施調整部(基礎教育部会、教養教育部会、言語教育部会)]



大阪大学・情報通信研究機構 脳情報通信融合研究センター

今後の新たな研究領域として重要となる脳情報通信の分野について、関係機関との連携・協力の一層の強化を図りつつ、世界トップクラスの叡智を結集し融合的に研究を推進することを目的とする。



適塾記念センター

大阪大学の源流の一つであり、国の史跡・重要文化財である適塾の維持管理及び適塾関係者の業績の顕彰に努めるとともに、適塾に関する研究並びに大阪及びオランダの学術、文化に関連する研究の発展に寄与することを目的とする。

安全衛生管理部

安全衛生管理部は、化学、生化学等の専門的知識を有する教員と事務系職員で構成される組織で、各部局、各研究室等の協力を得て、事故予防のための安全教育、安全巡視、事故情報の収集・分析等の活動を通じて、安全で快適な教育研究環境の実現を目指すことを目的とする。

環境・エネルギー管理部

環境・エネルギー管理部は、環境イノベーションデザインセンター及び施設部と相互に連携協力して、エネルギーの使用の合理化及び温室効果ガスの排出抑制を推進するとともに、エネルギーの統括的な管理を行うことを目的とする。

キャンパスライフ支援センター

学生生活支援、キャリア支援及び障害等を有する学生への修学支援に係る計画、実施、評価、改善、啓発及び広報を行うことにより、大阪大学における学生支援体制の充実を図り、もって学生の多面的成長を促進することを目的とする。

【附属図書館】



総合図書館

開館時間
平日 8:00~22:00
土日 10:00~19:00
祝日 10:00~17:00



生命科学図書館

開館時間
平日 9:00~21:00
土日 10:00~17:00
祝日 休館



理工学図書館

開館時間
平日 9:00~22:00
土日 10:00~19:00
祝日 10:00~17:00



外国学図書館

開館時間
平日 9:00~21:00
土日 10:00~17:00
祝日 休館

※上記は授業期間中の開館時間です。授業休業期間中の開館時間についてはホームページをご確認ください。

□蔵書数

(平成24年度)

	総合図書館	生命科学図書館	理工学図書館	外国学図書館	計
和	1,286,358	139,729	194,878	351,325	1,972,290
洋	1,144,263	331,749	229,171	256,799	1,961,982
合計	2,430,621	471,478	424,049	608,124	3,934,272

□過去5年間におけるサービス状況の推移



※平成20年度 総合図書館・理工学図書館耐震改修工事を実施。

【附属病院】



医学部附属病院

【外来受付時間】
初診：8:30~11:00
再診：8:30~11:30
予約再診：8:30~15:00
休診日：土曜日・日曜日・祝日
年末年始(12月29日~1月3日)
※医学部附属病院では初診の方は医師の紹介状が必要です。
【病床数】1,076

【診療科】

内科系科	循環器内科、腎臓内科、消化器内科、内分泌・代謝内科、呼吸器内科、免疫・アレルギー内科、血液・腫瘍内科、老年・高血圧内科、漢方医学科
外科系科	心血管外科、呼吸器外科、消化器外科、乳腺・内分泌外科、小児外科
感覚・皮膚・運動系科	眼科、耳鼻咽喉科・頭頸部外科、整形外科、皮膚科、形成外科
脳神経精神科	神経内科・脳卒中科、神経科・精神科、脳神経外科、麻酔科
女性・母子・泌尿生殖科	産科、婦人科、小児科、泌尿器科
放射線科	放射線診断科、放射線治療科、核医学診療科
歯科	歯科

【患者数】

(平成24年度)

入院	延患者数	337,669人
	1日平均患者数	925.1人
外来	延患者数	602,246人
	1日平均患者数	2,458.1人



歯学部附属病院

【外来受付時間】
初診：8:30~11:00
再診：8:30~15:00
休診日：土曜日・日曜日・祝日
年末年始(12月29日~1月3日)
※再診は原則として全科予約制です。
【病床数】40

【診療科】

歯疾制御系科	保存科、口腔治療・歯周科、予防歯科、小児歯科
咬合・咀嚼障害系科	口腔補綴科、咀嚼補綴科、矯正科
口腔病態系科	口腔外科1(制御系)、口腔外科2(修復系)、放射線科、歯科麻酔科、口腔内科、口腔小児科

【患者数】

(平成24年度)

入院	延患者数	11,610人
	1日平均患者数	31.8人
外来	延患者数	214,158人
	1日平均患者数	874.1人

【大阪大学会館】

創立80周年を機に、「阪大人の共通の思いを寄せる施設」、さらには、「大阪における学術の伝統を受け継ぐシンボル」とするため、これまで「イ号館」と呼ばれていた建物を、平成23年に「大阪大学会館」として整備しました。

なお、この建物は昭和3年(1928年)に旧制浪速高等学校の校舎として建てられ、平成16年(2004年)には、国の登録有形文化財建造物に指定されております。

共用施設

講堂(462席)／アセンブリー・ホール(328㎡)
会議室(24席)／セミナー室1(40席)
セミナー室2(16席)／国際ラウンジ／来賓室

建築面積／1,276㎡
延面積／4,237㎡ 地上5階建て



【総合学術博物館】

本学モットー「地域に生き世界に伸びる」のもと、里山・待兼山の遊歩道が結び二つの登録有形文化財—大阪大学会館と待兼山修学館を拠点に活動しています。

懐徳堂・適塾の資料やマチカネワニの化石、真空管式コンピュータなどを展示し、春季・秋季には大学博物館ならではの企画展示を行うほか、本学の研究成果をレクチャーやサイエンス・カフェで紹介するとともに、貴重資料のデータベースの公開、叢書の刊行も行っています。

館内概要

待兼山修学館	常設展示
開館時間	4階 自然教室
10:30～17:00	3階 待兼山に学ぶ
(入館は16:30まで)	2階 みる科学
休館日	大阪大学の系譜
日・祝・年末年始	1階 世界にはばたく研究者
	コンピュータの黎明期



【中之島センター】

創立70周年記念事業の一環として、産業界や卒業生、教職員の寄附により、本学が創設された開校の地に建設したものです。

都市の中心部に位置し、たくさんの方がアクセスできる第4のキャンパスとして、本学の教育・研究活動等に使用するほか、社会への情報発信や交流拠点として活用されております。

中之島センターの主な機能

- 教育・研究機能に対する事業
- 社会との交流機能に対する事業
- 社会への情報発信機能に対する事業

建築面積／752㎡
延面積／8,158㎡ 地上10階、地下2階建て
竣工／平成16年



【アーカイブズ】

平成24年10月に設置され、「法人文書資料部門」と『大学史資料部門』の2部門で構成されています。平成25年4月に公文書等の管理に関する法律に基づく「国立公文書館等」(国立公文書館に類する機能を有する施設)及び「歴史資料等保有施設」の指定を受けました。同法律に基づいて、「国民共有の知的資源」である歴史的文化的価値を有する法人文書(「歴史公文書等」)や本学の歴史に関する資料を適切に管理し、その保存・利用・公開といった業務を行っています。

利用案内

開室日
月曜日～金曜日
(祝日、年末年始を除く)
利用時間
9:00～16:30



大阪大学アーカイブズ
OSAKA UNIVERSITY ARCHIVES

【海外拠点】

サンフランシスコ(アメリカ合衆国)、グローニンゲン(オランダ王国)、バンコク(タイ王国)、上海(中華人民共和国)に教育研究センターを設け、国際的な教育研究活動及び現地での同窓会活動のサポートを行っています。

サンフランシスコ 教育研究センター(米国)

所在地 100 Montgomery St., Suite
1270, San Francisco,
CA 94104, U.S.A.
Phone +1-415-296-8561
F A X +1-415-296-8676
U R L <http://www.osaka-u-sf.org>
設置年月 平成16年4月



グローニンゲン 教育研究センター(オランダ)

所在地 Zernikelaan 6, 9747AA,
Groningen,
The Netherlands
Phone +31-50-363-8865
F A X +31-50-363-8866
U R L <http://www.osaka-u-groningen.org>
設置年月 平成17年4月



バンコク 教育研究センター(タイ)

所在地 159 Serm-Mit Tower, 10th Floor,
Room C, Sukhumvit (21)
Rd., Klongtoey-Nua, Wattana,
Bangkok 10110, Thailand
Phone +66-2-661-7584
F A X +66-2-661-7585
U R L <http://www.osaka-u-bangkok.org>
設置年月 平成18年4月



上海 教育研究センター(中国)

所在地 Room D, 22nd Floor, Sun
Tong Infoport Plaza, No.55,
Huai Hai West Road,
Shanghai City 200030, China
Phone +86-21-6115-2001
F A X +86-21-6115-2003
U R L <http://www.shanghai-center.osaka-u.ac.jp>
設置年月 平成22年2月



【 寄附講座・寄附研究部門 】

部局名	講座・研究部門の名称
経済学研究科	イノベーション・マネジメント寄附講座
医学系研究科	癌ワクチン療法学寄附講座
	臨床遺伝子治療学寄附講座
	樹状細胞制御治療学寄附講座
	視覚情報制御学(トプコン)寄附講座
	先端移植基盤医療学寄附講座
	生体機能補完医学寄附講座
	漢方医学(ツムラ)寄附講座
	皮膚・毛髪再生医学寄附講座
	運動器バイオマテリアル学(ジョンソン・エンド・ジョンソン)寄附講座
	緩和医療学寄附講座
	疼痛医学寄附講座
	先進心血管治療学寄附講座
	癌幹細胞制御学寄附講座
	医療経済・経営学寄附講座
	運動器医工学治療学寄附講座
	分子精神神経学(大日本住友製薬)寄附講座
	医薬分子イメージング学寄附講座
医療経済産業政策学寄附講座	
乳房再生医学寄附講座	

部局名	講座・研究部門の名称
医学系研究科	心血管再生医学寄附講座
	再生誘導医学寄附講座
	代謝血管学寄附講座
	消化器癌先進化学療法開発学寄附講座
	重症臓器不全治療学寄附講座
	抗体医薬臨床応用学寄附講座
	腎疾患統合医療学寄附講座
	総合地域医療学寄附講座
	低侵襲循環器医療学寄附講座
	視覚再生医学寄附講座
工学研究科	酵母リソース工学寄附講座
	国際環境生物工学(住友電工グループ社会貢献基金)寄附講座
	危機管理工学へのプロダクトデザイン応用研究開発寄附講座
国際公共政策研究科	グローバルな公共倫理とソーシャル・イノベーション(稲盛財団)寄附講座
連合小児発達学研究科	健康発達医学寄附講座
微生物病研究所	デングワクチン(阪大微生物病研究会)寄附研究部門
金融・保険教育研究センター	デリバティブ取引とリスク・マネジメント(大阪証券取引所)寄附研究部門
免疫学フロンティア研究センター	免疫機能統御学(岸本基金)寄附研究部門

※企業等民間からの奨学寄附金を財源とする時限付きの講座・研究部門。

【 共同研究講座・共同研究部門 】

部局名	講座・研究部門の名称
医学系研究科(保健学専攻)	疾患分子情報解析学(和光純薬工業)共同研究講座
	癌免疫学(大塚製薬)共同研究講座
	ロボティクス&デザイン看工融合(パナソニック)共同研究講座
工学研究科	ダイキン(フッ素化学)共同研究講座
	大阪大学 コマツ共同研究講座(建機等イノベーション講座)
	マイクロ波化学共同研究講座
	大阪大学-新日鐵住金(鉄鋼元素循環工学)共同研究講座
	大阪大学 日新製鋼(鉄鋼表面フロンティア)共同研究講座
	三井造船(高品位溶接・接合プロセス工学)共同研究講座
	大阪大学-新日鐵住金(溶接・接合)共同研究講座
	三菱電機・生産コンバーシング・テクノロジー共同研究講座
	セキュアデザイン共同研究講座
	溶接保全共同研究講座
	三井造船・船舶ハイブリッド推進システム共同研究講座
	大阪ガス(エクセルギーデザイン)共同研究講座

部局名	講座・研究部門の名称
工学研究科	ネオス(分離濃縮システム)共同研究講座
	「創・蓄・省エネデバイス生産技術」共同研究講座
	NEXCO西日本 高速道路学共同研究講座
	ナノ粒子アジュバント(武田薬品工業)共同研究講座
	核酸制御(陽進堂)共同研究講座
情報科学研究科	将来ネットワーク共同研究講座
接合科学研究所	東洋炭素(先進カーボンデザイン)共同研究部門
	富士電機パワーデバイス・スマート接合共同研究部門
	日立造船 先進溶接技術共同研究部門
	大阪富士工業 先進機能性加工共同研究部門
超高圧電子顕微鏡センター	電子顕微鏡基礎研究共同研究部門
臨床医学融合研究教育センター	次世代内視鏡治療学共同研究部門
	栄養デバイス未来医工学共同研究部門
産学連携本部	ピラス(皮膚再生技術)共同研究部門
	脳神経機能再生学(帝人ファーマ)共同研究部門

※企業等からの研究経費等を活用して設置運用される講座・研究部門。

【 協働研究所 】

部局名	協働研究所の名称
工学研究科	カネカ基盤技術協働研究所
	日東電工先端技術協働研究所
	パナソニック材料デバイス基盤協働研究所
	H i t z (バイオ) 協働研究所
産学連携本部	アジレント・ライフサイエンス協働研究所

※企業の研究組織を大阪大学内に誘致し、多面的な産学協働活動を展開する拠点。

職員数

(平成25年5月1日現在)

区 分	教 員							研究員	事務・技術・教務職員			医療職	合計	嘱託職員等	非常勤教員等	非常勤職員	
	教授	准教授	講師	助教	助手	各種講師	小計	特任研究員	事務	技術	教務						小計
本部事務機構	13 (6)	11 (4)	3 (2)	18 (13)			45	12	377 (32)	47 (1)		424		481	14	56	259
未来戦略機構	6 (5)	9 (9)	5 (5)	26 (26)			46	1	17 (17)			17		64	2	10	28
文学研究科・文学部	56	23	6 (1)	18			103		16 (2)		2	18		121		19	29
人間科学研究科・人間科学部	43	26	3 (1)	27 (5)			99		14 (1)			14		113		13	34
法学研究科・法学部	24	10	1		3		38		15			15		53	1	6	14
経済学研究科・経済学部	25	15	4	4 (1)	3		51		15			15		66	1	3	23
理学研究科・理学部	68	68 (2)	13 (1)	75 (4)	1		225	10	38 (3)	16		54		289	3	40	79
医学系研究科・医学部	105 (26)	87 (22)	60 (10)	329 (91)	2		583	27	91 (45)	25 (9)		116		726	1	188	338
歯学研究科・歯学部	19	21 (1)	6	44 (1)		3	93		45 (8)			45	1	139		8	34
薬学研究科・薬学部	19	15 (1)	2 (2)	28 (9)			64	8	13 (1)	1 (1)		14		86		5	22
工学研究科・工学部	147 (12)	149 (10)	19 (7)	155 (21)			470	37	99 (20)	38 (3)	1	138		645	8	97	203
基礎工学研究科・基礎工学部	55	47	7 (1)	79 (6)	1		189	11	44 (1)	5		49		249	3	19	66
言語文化研究科	68 (1)	86 (25)	22 (9)	7 (1)			183		37	1		38		221		4	25
国際公共政策研究科	15	11	1	3	1		31		1 (1)			1		32		10	17
情報科学研究科	29	28 (2)		29 (4)			86	5	15 (4)	2		17		108		5	41
生命機能研究科	20 (3)	21 (1)	1 (1)	30 (7)			72	10	13 (2)	6 (6)		19		101		37	37
高等司法研究科	16	6					22							22		6	2
連合小児発達学研究科	3 (1)	5 (1)	2	8 (1)			18		1 (1)			1		19		11	8
医学部附属病院	1	10 (3)	13 (3)	36 (12)			60	8	127 (18)	50 (25)		177	1,211 (79)	1,456	4	607	198
歯学部附属病院	2	3	18 (1)	14 (1)			37						70 (2)	107		302	25
附属図書館									51			51		51			84
微生物病研究所	20 (4)	20 (6)	4 (4)	36 (9)			80	37	20 (5)	4 (2)	3	27		144		17	41
産業科学研究所	24 (3)	35 (3)	3 (3)	57 (15)			119	27	27 (9)	15 (3)		42		188		43	59
蛋白質研究所	13	14 (1)	1 (1)	18 (1)			46	25	12 (1)	8 (1)		20		91		50	48
社会経済研究所	9	1	4	1	2		17		7 (1)			7		24		3	8
接合科学研究所	10	15 (4)	1	8 (4)			34	3	9 (1)	6 (1)		15		52		33	22
低温センター				2			2							2			2
超高压電子顕微鏡センター	1	2 (1)	1	2 (1)			6	2		2		2		10		6	4
ラジオアイソトープ総合センター	1	1					2			1		1		3			4
環境安全研究管理センター	1		1	1			3							3			2
国際教育交流センター	4	6		3 (3)			13		5 (5)			5		18		1	14
生物工学国際交流センター	2	1	1	2			6		1			1		7			3
極限量子科学研究センター	2	2		3 (1)			7			2		2		9		6	3
太陽エネルギー化学研究センター	2	2					4	1		1		1		6		3	2
総合学術博物館	2	3	1 (1)	1			7							7			
全学教育推進機構	8	7		2			17		19 (1)	1		20		37	2		30
保健センター	4	4	1	5			14		3			3	6	23	2		16
臨床医工学融合研究教育センター	2 (2)	4 (4)	1 (1)				7							7		1	5
コミュニケーションデザインセンター	7 (1)	5 (3)	3 (3)	2 (2)			17	1						18		5	
金融・保険教育研究センター				3 (3)			3							3		3	2
科学教育機器リノベーションセンター	1 (1)	1		2 (1)			4			11 (1)		11		15	1		2
グローバルコラボレーションセンター		8 (6)	1	3 (3)			12	1						13		1	
日本語日本文化教育センター	6	10	2	1			19							19			5
環境イノベーションデザインセンター		2 (2)		3 (3)			5	1						6		2	3
ナノサイエンスデザイン教育研究センター		2 (2)		1 (1)			3							3		13	4
知的財産センター	2 (2)	1 (1)	1 (1)	1 (1)			5		1 (1)			1		6		6	
核物理研究センター	6	7	1 (1)	16 (8)			30	3	7	4		11		44		18	18
サイバーメディアセンター	7	7	3 (1)	5 (1)			22	2						24		2	3
レーザーエネルギー学研究センター	11	9	4 (1)	5 (1)			29	3	9 (2)	11		20		52		15	21
免疫学フロンティア研究センター	5 (4)	22 (22)		24 (24)			51	34	28 (21)	43 (43)		71		156		6	17
学際融合教育研究センター	1 (1)	1		1 (1)			3							3			
アーカイブズ		1					1							1			
大型教育研究プロジェクト支援室	4 (4)	2 (1)	1 (1)				7	4						11			1
適塾記念センター		1					1							1			2
合計	889 (76)	847 (137)	221 (62)	1,138 (286)	13	3	3,111	273	1,177 (203)	300 (96)	6	1,483	1,288 (81)	6,155	42	1,682	1,905

※派遣・休職・育休は含まない。
 ※産学連携本部、海外拠点本部、クリエイティブユニット、インターナショナルカレッジ、学生支援ステーション、ハラメント相談室については本部事務機構に含む。
 ※法学研究科・高等司法研究科事務部については法学研究科・法学部、経済学研究科・国際公共政策研究科事務部については経済学研究科・経済学部を含む。
 ※()は寄附講座教員、特任教職員(常勤)で内数。
 ※非常勤教員等は特任教員、特任研究員、医員、医員(臨床研修)。
 ※図書職員は事務に含む。

【学生数】

□学部

(平成25年5月1日現在)

学部名	入学定員	現員
文学部	165	776 (421)
人間科学部	137	643 (321)
外国語学部※	580	2,963 (1,908)
法学部	250	1,128 (398)
経済学部	220	1,053 (230)
理学部	255	1,182 (232)
医学部	260 [10]	1,367 (666)
歯学部	53	365 (156)
薬学部	80	399 (164)
工学部	820	3,725 (370)
基礎工学部	435	1,962 (177)
計	3,255 [10]	15,563 (5,043)

注:入学定員の[]は2年次編入学定員、< >は3年次編入学定員で外数
※外国語学部については、旧大阪外国語大学の課程に所属する学生を含む

□学生の推移

【学部】



□大学院

(平成25年5月1日現在)

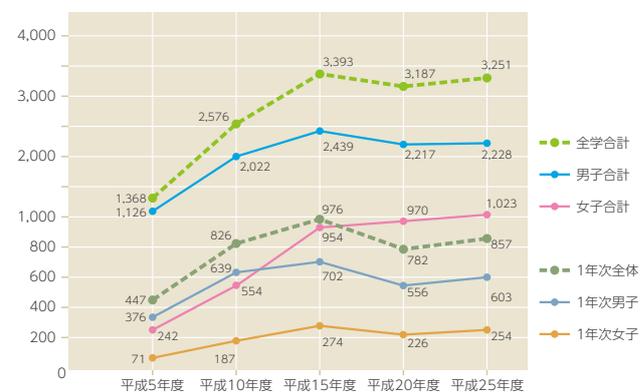
研究科名	入学定員	現員	入学定員		現員	
			前期課程	後期課程	前期課程	後期課程
博士課程 (5年)						
文学研究科	75	173 (87)	41	195 (93)		
人間科学研究科	89	212 (125)	42	189 (99)		
法学研究科	35	101 (55)	12	43 (8)		
経済学研究科	83	170 (60)	25	105 (27)		
理学研究科	266	563 (115)	126	283 (48)		
医学系研究科※1	65	156 (101)	23	81 (57)		
薬学研究科※2	75	140 (39)	20	64 (12)		
工学研究科	790	1,733 (186)	184	532 (85)		
基礎工学研究科	267	597 (58)	70	158 (21)		
言語文化研究科	67	178 (119)	28	144 (106)		
国際公共政策研究科	35	86 (59)	21	79 (43)		
情報科学研究科	123	291 (21)	43	128 (17)		
言語社会研究科※3	-	-	-	2 (1)		
大阪大学・富山大学・京都府立医科大学 千葉大学・福井大学 連合小児科看護学研究所	-	-	※4 15	50 (33)		
計	1,970	4,400 (1,025)	650	2,053 (650)		
修士課程 (2年)						
文学研究科※5	19	50 (32)	-	-		
計	19	50 (32)	-	-		
修士課程 (2年) / 博士課程 (4年)						
医学系研究科	20	56 (28)	172	744 (224)		
歯学研究科	-	-	55	184 (69)		
薬学研究科	-	4 (1)	10	13 (3)		
計	20	60 (29)	237	941 (296)		
博士課程 (5年一貫制)						
生命機能研究科	-	-	55	257 (77)		
計	-	-	55	257 (77)		
法科大学院の課程 (3年)						
高等司法研究科	80	238 (68)	-	-		
計	80	238 (68)	-	-		
博士前期、修士及び法科大学院の課程 / 博士後期及び博士課程						
総計	2,089	4,748 (1,154)	942	3,251 (1,023)		

※1 医学系研究科(保健学専攻) ※2 薬学研究科(創成薬学専攻) ※3 旧大阪外国語大学
※4 後期課程(3年)のみ ※5 文学研究科(文化動態論専攻)

【大学院】(博士前期、修士及び法科大学院の課程)



【大学院】(博士後期及び博士課程)



□専修学校

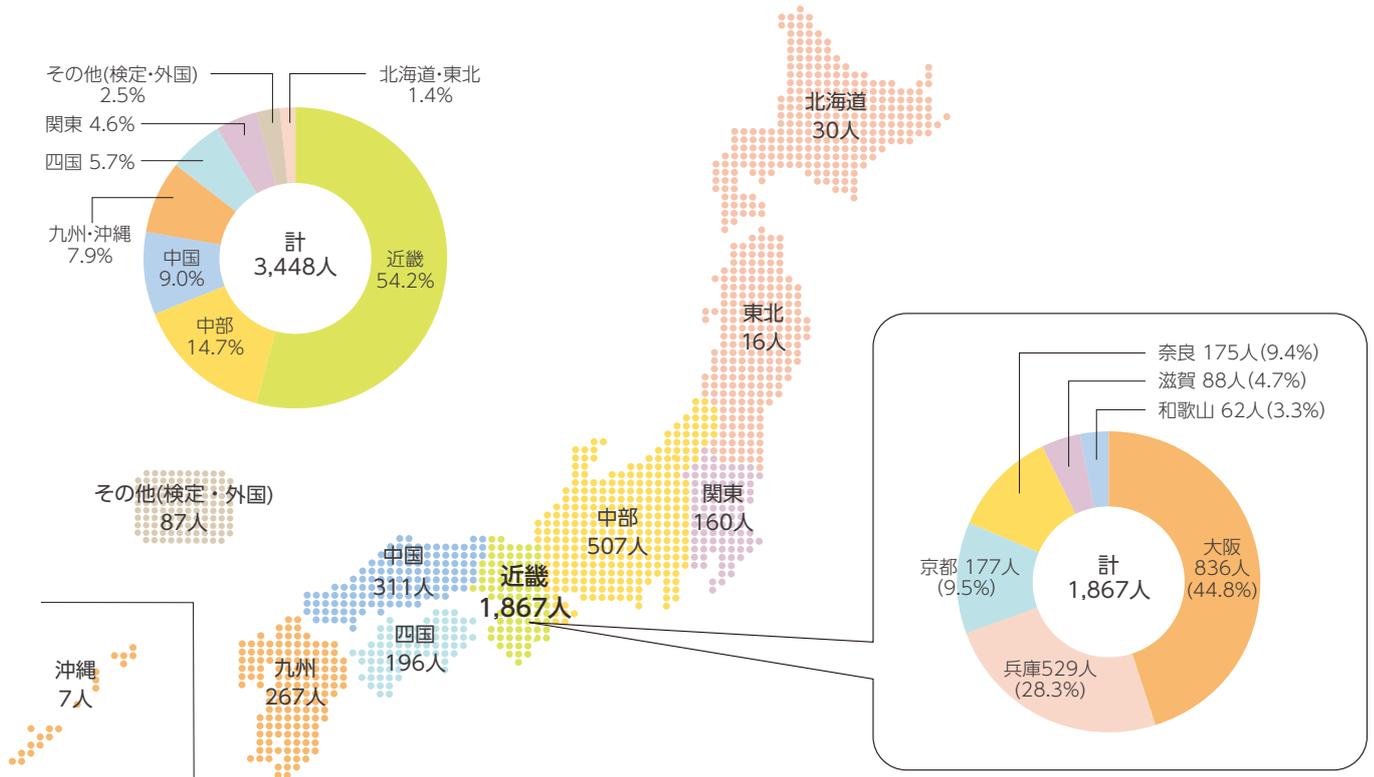
(平成25年5月1日現在)

学校名	入学定員	現員
歯学部附属歯科技工士学校	20	39(18)
計	20	39(18)

注:このページの現員の()内に女子を内数で示す。

【入学者数】

□ 出身高校所在地別入学者数(学部)



□ 学部別志願者数及び入学者数

(平成25年4月入学)

学部名	入学定員	志願者	入学者
文学部	165	703	176
人間科学部	137	513	139
外国語学部	580	2,675	628
法学部	250	988	262
経済学部	220	872	238
理学部	255	641	277
医学部	260	1,026	276
歯学部	53	174	53
薬学部	80	366	85
工学部	820	2,110	866
基礎工学部	435	992	448
計	3,255	11,060	3,448 (1,091)

□ 学部別編入学志願者数及び入学者数

(平成25年4月入学)

学部名	入学定員	志願者	入学者
文学部	若干名	2	0
人間科学部	10	63	10
外国語学部	10	28	9
法学部	10	72	3
経済学部	10	75	6
医学部医学科	10	223	9
医学部保健学科	20	43	6
工学部	若干名	129	33
基礎工学部	若干名	82	21
計	-	717	97 (19)

*医学部医学科は平成24年9月入学。

□ 大学院研究科別志願者数及び入学者数

(平成25年4月入学)

研究科名	博士前期課程			博士後期課程		
	入学定員	志願者	入学者	入学定員	志願者	入学者
文学研究科	94	171	98	41	50	32
人間科学研究科	89	231	89	42	63	48
法学研究科	35	110	44	12	13	4
経済学研究科	83	256	83	25	36	28
理学研究科	266	461	257	126	73	66
医学系研究科(保健学)	65	100	79	23	33	20
薬学研究科	75	94	69	20	21	20
工学研究科	790	1,081	816	184	113	101
基礎工学研究科	267	358	282	70	37	37
言語文化研究科	67	175	70	28	47	28
国際公共政策研究科	35	138	37	21	29	9
情報科学研究科	123	204	146	43	35	31
大阪大学・金沢大学・浜松医科大学 千葉大学・福井大学 連合小児発達学研究所	-	-	-	15	28	17
計	1,989	3,379	2,070 (456)	650	578	441 (134)

*文学研究科博士前期課程は文化動態論専攻(修士課程)を含む。

研究科名	修士課程			博士課程		
	入学定員	志願者	入学者	入学定員	志願者	入学者
医学系研究科	20	55	28	172	251	188
歯学研究科	-	-	-	55	44	40
薬学研究科	-	-	-	10	11	9
計	20	55	28 (13)	237	306	237 (68)

研究科名	博士課程(5年一貫制)		
	入学定員	志願者	入学者
生命機能研究科	55	118	76
計	55	118	76 (28)

研究科名	法科大学院の課程(3年)		
	入学定員	志願者	入学者
高等司法研究科	80	411	91
計	80	411	91 (29)

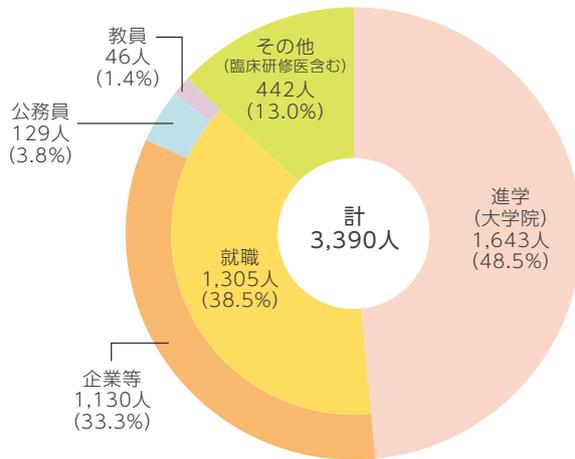
注:このページの入学者計下段の()内に女子を内数で示す。

【学部卒業生数・進路】

(平成24年度)

学部名	区分	旧制	新制		平成24年度卒業生の卒業後の状況					
			平成24年度卒業生	累計	進学(大学院)	就職				その他(臨床研修医を含む)
						企業等	公務員	教員※2	計	
文学部		114	170	7,036	45	71	17	10	98	27
人間科学部		-	148	4,792	33	78	16	2	96	19
外国語学部※1		-	596	4,172	44	411	32	17	460	92
法学部		223	269	10,129	60	123	32	0	155	54
経済学部		233	244	11,681	20	178	20	0	198	26
理学部		1,119	258	10,857	207	23	0	12	35	16
医学部(医学科)		2,489	270	8,860	-	-	-	-	-	97
医学部(保健学科)					57	110	0	1	111	5
歯学部		-	57	3,065	-	-	-	-	-	57
薬学部		-	86	4,543	60	19	1	0	20	6
工学部		4,598	864	42,031	758	64	11	2	77	29
基礎工学部		-	428	18,404	359	53	0	2	55	14
計		8,776	3,390	125,570	1,643	1,130	129	46	1,305	442
歯学部附属歯科技工士学校			18	915	0	11	0	0	11	7

※1 夜間主コースを除く ※2 国公立・私立の学校教員



【学位授与者数】

(平成24年度)

研究科名	区分	博士前期課程		博士後期課程					
		平成24年度	累計	平成24年度			累計		
				課程	論文	計	課程	論文	計
文学研究科		82	2,570	22	3	25	516	308	824
人間科学研究科		96	1,515	21	2	23	325	118	443
法学研究科		32	848	8	1	9	97	45	142
経済学研究科		100	1,426	10	2	12	262	128	390
理学研究科		268	8,387	52	1	53	2,476	815	3,291
医学系研究科		104	1,702	142	20	162	4,074	3,509	7,583
歯学研究科		-	-	32	2	34	973	363	1,336
薬学研究科		78	2,753	29	3	32	690	661	1,351
工学研究科		813	25,797	152	10	162	3,905	2,918	6,823
基礎工学研究科		285	10,029	48	0	48	1,595	841	2,436
言語文化研究科		85	743	17	3	20	186	19	205
国際公共政策研究科		41	656	11	1	12	159	30	189
情報科学研究科		124	1,412	37	0	37	305	20	325
生命機能研究科		53	594	25	0	25	186	0	186
言語社会研究科※		-	192	5	0	5	63	0	63
大阪大学・金沢大学・浜松医科大学・千葉大学・福井大学・連合小児発達学研究所		-	-	3	0	3	11	0	11
計		2,161	58,624	614	48	662	15,823	9,775	25,598

※旧大阪外国語大学の課程

(平成24年度)

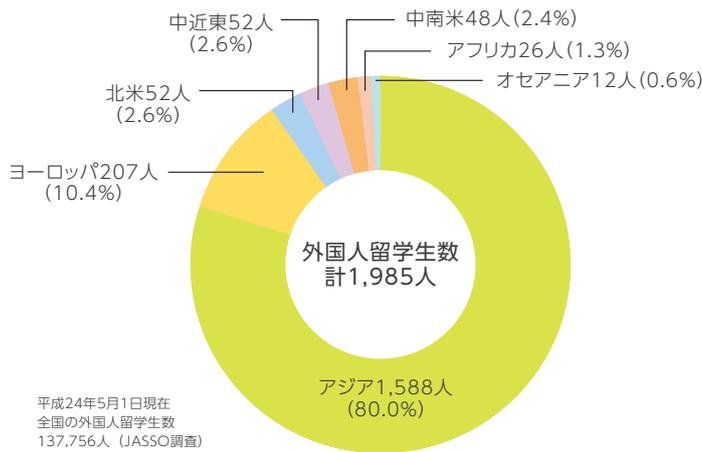
研究科名	区分	法務博士(専門職)	
		平成24年度	累計
高等司法研究科		63	667

□ 旧制学位授与者

文学博士	23
法学博士	6
経済学博士	29
理学博士	621
医学博士	3,553
工学博士	674
計	4,906

【外国人留学生数】

□外国人留学生数の地域別人数と割合



□過去10年間の外国人留学生受入数の推移



□課程別・経費別

経費	学部	大学院			研究生等	総計
		修士	博士	合計		
国費	79	134	233	367	176	622(284)
私費	244	398	358	756	363	1,363(697)
合計	323	532	591	1,123	539	1,985(981)

※()内は女子で内数

□全学生数に占める留学生数割合(課程別)

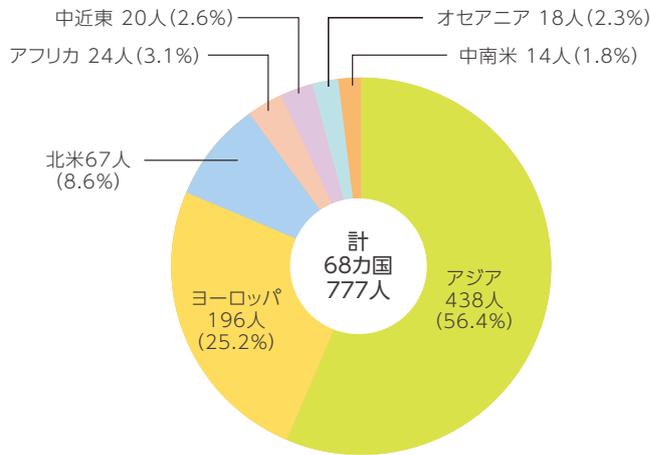
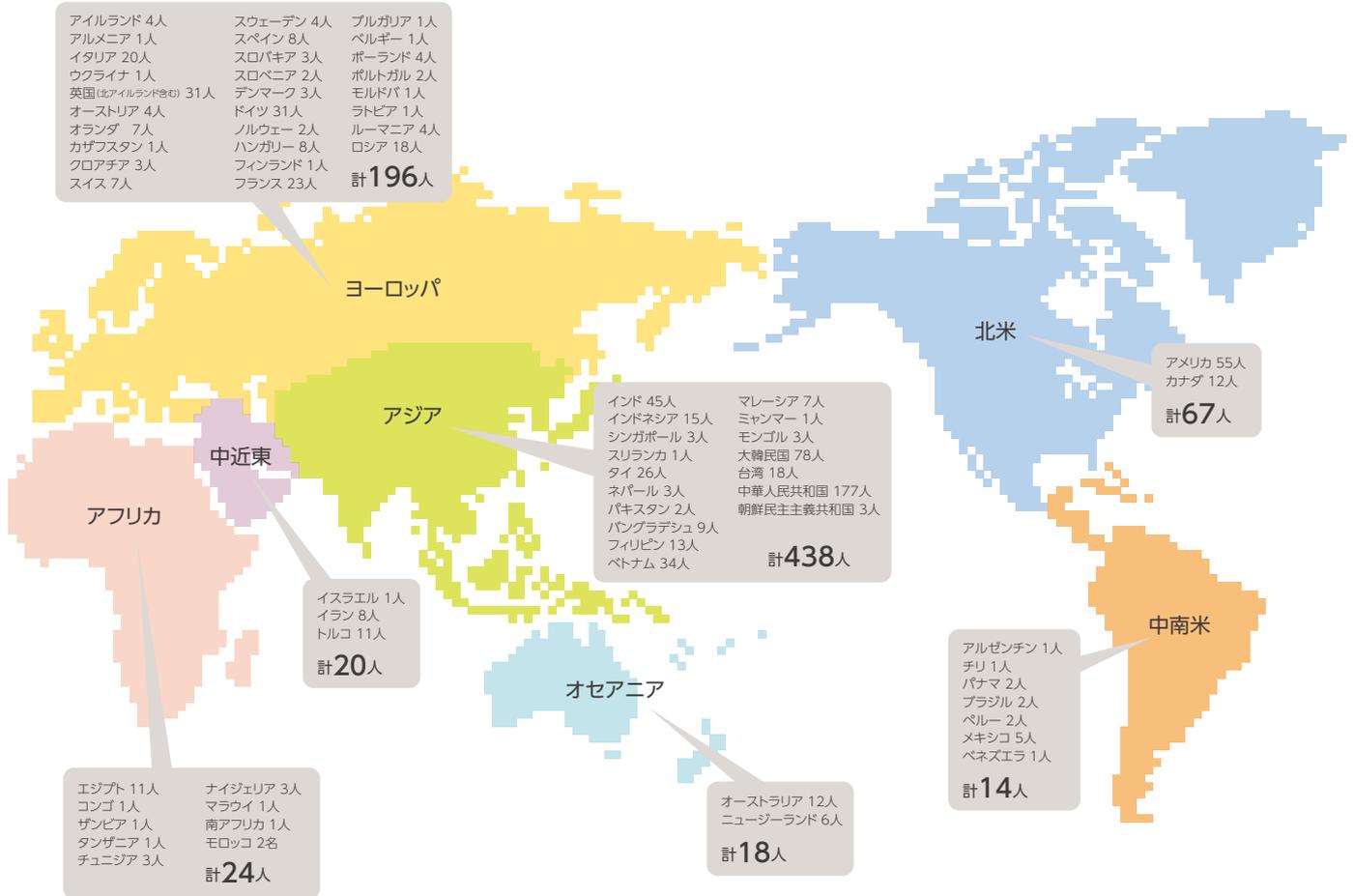


□部局別・地域別

部局名	アジア	中近東	アフリカ	オセアニア	北米	中南米	ヨーロッパ	総計
外国語学部	82 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	5 (0)	0 (0)	27 (3)	115 (3)
文学研究科・文学部	85 (13)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	3 (1)	6 (5)	26 (9)	122 (30)
人間科学研究科・人間科学部	81 (10)	2 (2)	1 (0)	1 (1)	8 (2)	2 (2)	18 (8)	113 (25)
法学研究科・法学部	80 (7)	2 (2)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	1 (1)	3 (2)	87 (13)
経済学研究科・経済学部	160 (29)	1 (1)	1 (1)	5 (1)	2 (1)	3 (3)	13 (4)	185 (40)
理学研究科・理学部	106 (28)	7 (3)	3 (2)	1 (0)	7 (1)	4 (4)	10 (3)	138 (41)
医学系研究科・医学部	92 (22)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	4 (1)	4 (3)	4 (2)	105 (29)
歯学研究科・歯学部	7 (2)	5 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	1 (1)	14 (5)
薬学研究科・薬学部	15 (2)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	1 (0)	18 (3)
工学研究科・工学部	439 (125)	16 (7)	9 (8)	0 (0)	8 (1)	10 (8)	16 (6)	498 (155)
基礎工学研究科・基礎工学部	114 (37)	5 (3)	2 (2)	1 (1)	7 (2)	4 (2)	6 (2)	139 (49)
言語文化研究科	134 (34)	5 (4)	0 (0)	0 (0)	2 (2)	0 (0)	27 (23)	168 (63)
国際公共政策研究科	51 (6)	1 (0)	2 (2)	0 (0)	1 (0)	4 (4)	10 (7)	69 (19)
情報科学研究科	39 (9)	0 (0)	2 (1)	0 (0)	1 (0)	2 (2)	9 (2)	53 (14)
生命機能研究科	22 (7)	3 (1)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	5 (2)	33 (13)
連合小児発達学研究科	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)
微生物病研究所	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)
産業科学研究所	2 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (1)
蛋白質研究所	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)
接合科学研究所	2 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (1)
核物理研究センター	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)
レーザーエネルギー学研究センター	3 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (1)
免疫学フロンティア研究センター	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	2 (1)
国際教育交流センター	4 (4)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	1 (1)	7 (7)
日本語日本文化教育センター	66 (66)	2 (2)	2 (2)	1 (1)	3 (3)	4 (4)	29 (29)	107 (107)
計	1,588 (406)	52 (29)	26 (21)	12 (5)	52 (14)	48 (42)	207 (105)	1,985 (622)

※()内は国費留学生で内数

【外国人研究者受入数】



(平成24年度)

受入れの名称および区分		アジア (17カ国)	中近東 (6カ国)	アフリカ (10カ国)	オセアニア (2カ国)	北米 (2カ国)	中南米 (6カ国)	ヨーロッパ (25カ国)	総計 (68カ国)
本学雇用の外国人教員 (非常勤講師を除く)	(常勤)	64	1	3	3	11	3	33	118
	(非常勤)	8	0	3	0	0	0	1	12
本学雇用の外国人の研究者 (特任研究員)	(常勤)	59	0	2	0	2	1	14	78
	(非常勤)	96	6	2	0	8	2	16	130
非常勤講師(外国人)		27	1	2	5	20	3	33	91
外国人招へい研究員		87	9	4	5	10	4	55	174
日本学術振興会事業に基づく外国人研究者		18	0	1	3	1	0	8	31
外国人研究員等		18	1	1	1	2	0	22	45
招へい研究員/招へい教員(外国人)		53	2	6	1	13	1	14	90
外国人研修員等		8	0	0	0	0	0	0	8
計		438	20	24	18	67	14	196	777

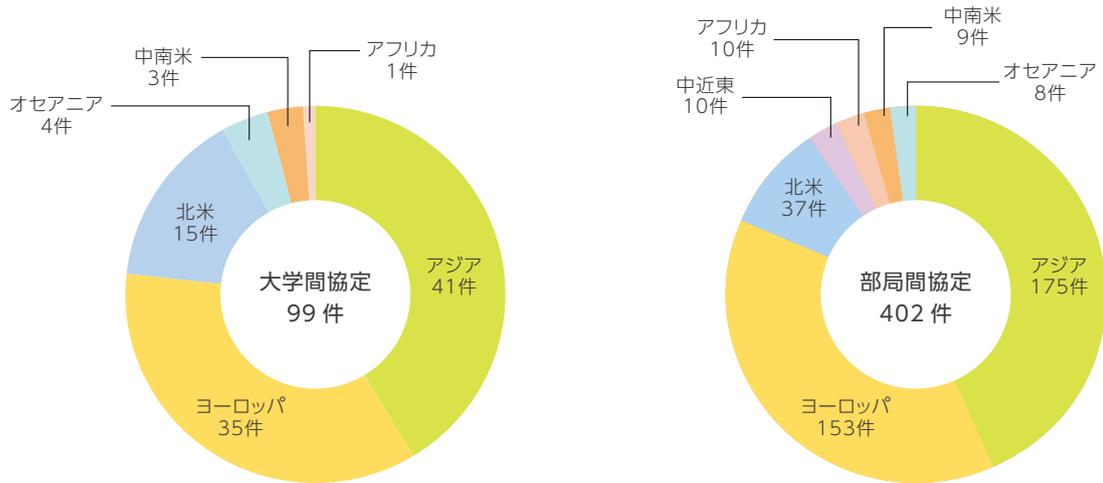
※日本学術振興会事業に基づく外国人研究者とは、特別研究員(PD)、外国人特別研究員、外国人招へい研究者、覚書に基づく外国人研究者を指す。

※外国人研究員等とは、外国人研究員、外国人教師、外国人招へい教員を指す。

※外国人研修員等は、外国人受託研修員、中国医学研修生、国連大学派遣研究員及び1社国際大学院研修講座研修生を指す。

※共同研究等で受け入れた短期間の一時来訪者は除く。

【交流協定締結大学】



交流協定締結先大学・機関等の情報はホームページを参照ください。
<http://www.osaka-u.ac.jp>

□部局別・地域別

(平成25年5月1日現在)

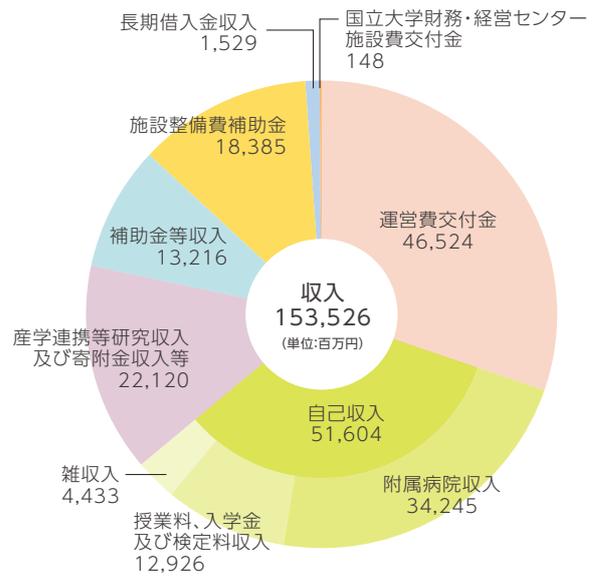
部 局 名	アジア	中近東	アフリカ	オセアニア	北 米	中南米	ヨーロッパ	総 計
文学研究科・文学部	1	0	0	0	0	0	8	9
人間科学研究科・人間科学部	0	0	0	0	1	0	3	4
外国語学部	16	6	0	1	1	1	16	41
法学研究科・法学部	13	0	0	1	1	3	5	23
経済学研究科・経済学部	2	0	0	0	3	0	3	8
理学研究科・理学部	13	1	0	0	4	0	14	32
医学系研究科・医学部	8	0	0	0	1	1	0	10
歯学研究科・歯学部	3	1	0	0	4	1	4	13
薬学研究科・薬学部	0	0	0	0	1	0	0	1
工学研究科・工学部	27	0	1	1	3	0	24	56
基礎工学研究科・基礎工学部	11	0	0	0	5	0	17	33
言語文化研究科	15	6	0	1	2	1	26	51
国際公共政策研究科	10	1	2	0	1	0	0	14
情報科学研究科	8	0	0	1	2	0	2	13
生命機能研究科	2	0	0	0	0	1	4	7
高等司法研究科	5	0	0	1	0	2	4	12
微生物病研究所	2	0	2	0	0	0	0	4
産業科学研究所	13	0	1	0	1	0	6	21
蛋白質研究所	4	0	0	0	0	1	1	6
社会経済研究所	3	0	0	0	1	0	1	5
接合科学研究所	22	1	1	0	1	1	13	39
超高圧電子顕微鏡センター	0	0	0	0	1	0	0	1
生物工学国際交流センター	1	0	0	0	0	0	0	1
太陽エネルギー化学研究センター	3	0	0	0	0	0	1	4
臨床医工学融合研究教育センター	0	0	0	1	0	0	4	5
コミュニケーションデザイン・センター	0	0	0	0	0	0	1	1
グローバルコラボレーションセンター	2	0	0	1	0	0	0	3
日本語日本文化教育センター	0	0	0	1	1	1	11	14
核物理研究センター	4	0	1	0	0	0	7	12
サイバーメディアセンター	2	0	0	1	2	0	1	6
レーザーエネルギー学研究所	13	0	0	0	7	0	8	28
免疫学フロンティア研究センター	3	0	0	1	1	0	0	5
安全衛生管理部	1	0	0	0	0	0	0	1

【 予 算 】

□ 収 入

(平成25年度/単位:百万円)

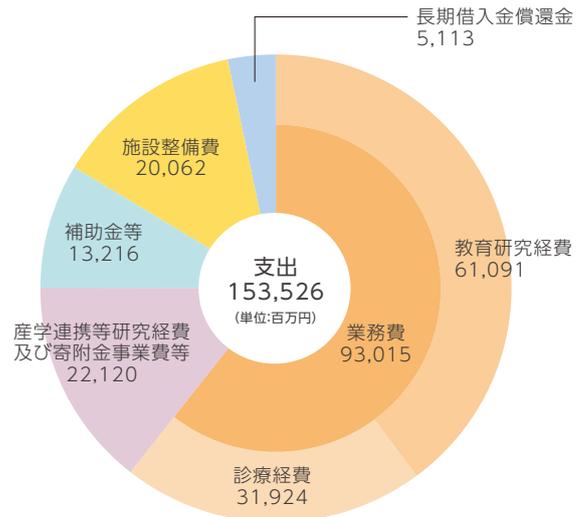
区 分		金 額
運 営 費 交 付 金		46,524
施 設 整 備 費 補 助 金		18,385
船 舶 建 造 費 補 助 金		0
施 設 整 備 資 金 貸 付 金 償 還 時 補 助 金		0
補 助 金 等 収 入		13,216
国立大学財務・経営センター施設費交付金		148
自 己 収 入	授業料、入学金及び検定料収入	12,926
	附 属 病 院 収 入	34,245
	財 産 処 分 収 入	0
	雑 収 入	4,433
	小 計	51,604
産学連携等研究収入及び寄附金収入等		22,120
引 当 金 取 崩		0
長 期 借 入 金 収 入		1,529
貸 付 回 収 金		0
承 継 剩 余 金		0
旧 法 人 承 継 積 立 金		0
目 的 積 立 金 取 崩		0
計		153,526



□ 支 出

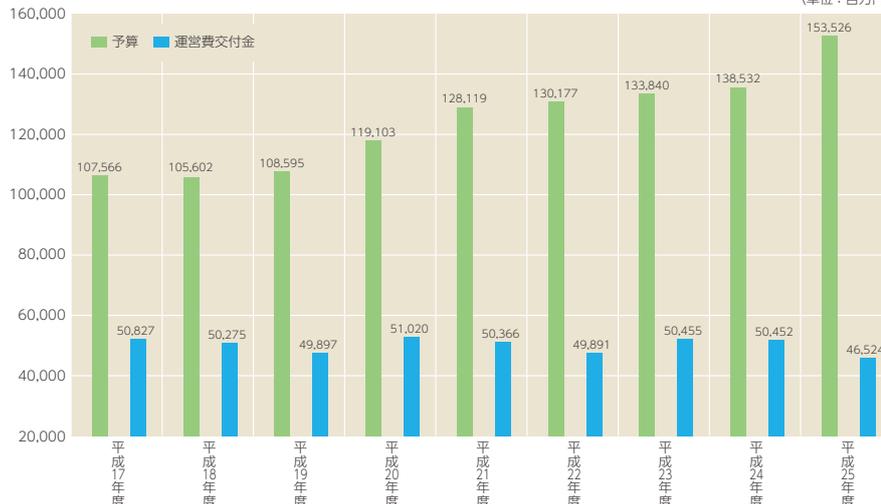
(平成25年度/単位:百万円)

区 分		金 額
業 務 費	教 育 研 究 経 費	61,091
	診 療 経 費	31,924
	小 計	93,015
施 設 整 備 費		20,062
船 舶 建 造 費		0
補 助 金 等		13,216
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等		22,120
貸 付 金		0
長 期 借 入 金 償 還 金		5,113
計		153,526



□ 予算、運営費交付金の推移

(単位:百万円)



【科学研究費助成事業等】

□ 科学研究費助成事業

(平成24年度/単位:千円)

研究種目	採択件数	交付金額
特別推進研究	6	833,040
特定領域研究	7	94,500
新学術領域研究(領域提案型)	209	2,651,350
基盤研究(S)	39	1,637,740
基盤研究(A)	135	1,568,255
基盤研究(B)	368	1,905,280
基盤研究(C)	653	995,150
挑戦的萌芽研究	409	694,720
若手研究(S)	6	90,870
若手研究(A)	98	742,950
若手研究(B)	526	875,573
研究活動スタート支援	65	96,720
特別研究員奨励費	395	310,500
計	2,916	12,496,648

□ 外部資金

(平成24年度/単位:千円)

区分	件数	金額	
共同研究	935	2,834,841	
受託研究等	1,084	9,472,072	
内訳	受託研究	672	9,117,147
	医薬品等の臨床研究	408	347,616
	受託試験等	0	0
	病理組織検査等	4	7,309
奨学寄附金等	28,361	6,072,192	
内訳	奨学寄附金	4,146	5,854,743
	その他の寄附(備品等)	24,215	217,449
計	30,380	18,379,105	

□ 部局別特許件数

(平成25年3月末現在)

部局名	国内	国外	計
理学研究科・理学部	24 (8)	8 (4)	32 (12)
医学系研究科・医学部	33 (15)	22 (15)	55 (30)
医学部附属病院	2 (2)	1 (1)	3 (3)
歯学研究科・歯学部	8 (6)	12 (11)	20 (17)
歯学部附属病院	1 (1)	0 (0)	1 (1)
薬学研究科・薬学部	14 (7)	7 (1)	21 (8)
工学研究科・工学部	234 (119)	89 (56)	323 (175)
基礎工学研究科・基礎工学部	45 (19)	10 (7)	55 (26)
情報科学研究科	25 (23)	4 (4)	29 (27)
微生物病研究所	15 (9)	28 (20)	43 (29)
産業科学研究所	36 (20)	41 (24)	77 (44)
接合科学研究所	28 (21)	19 (10)	47 (31)
超高压電子顕微鏡センター	2 (0)	1 (0)	3 (0)
太陽エネルギー化学研究センター	7 (6)	0 (0)	7 (6)
グローバルコラボレーションセンター	1 (1)	1 (1)	2 (2)
核物理研究センター	2 (1)	0 (0)	2 (1)
サイバーメディアセンター	1 (1)	0 (0)	1 (1)
レーザーエネルギー学研究所	14 (9)	10 (7)	24 (16)
産学連携本部	20 (13)	7 (7)	27 (20)
安全衛生管理部	1 (1)	0 (0)	1 (1)
本部事務機構	1 (1)	0 (0)	1 (1)
計	514 (283)	260 (168)	774 (451)

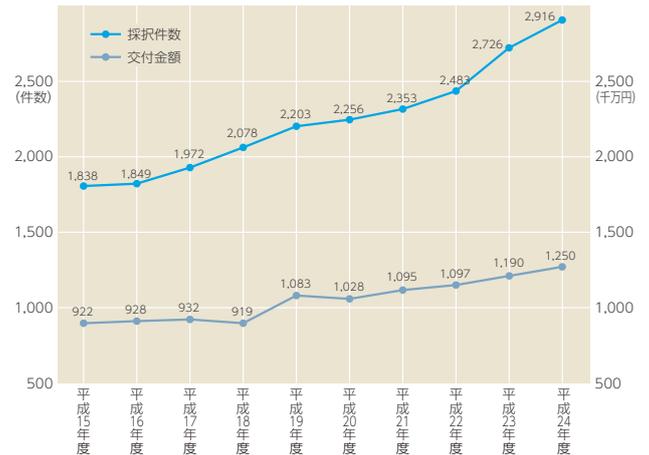
※()内は、共有特許件数で内数

□ 厚生労働科学研究費

(平成24年度/単位:千円)

分野名	採択件数	交付金額
行政政策研究分野	4	21,419
厚生科学基盤研究分野	14	268,900
疾病・障害対策研究分野	27	795,180
健康安全確保総合研究分野	3	70,886
健康長寿社会実現のためのライフ・イノベーションプロジェクト	8	560,966
計	56	1,717,351

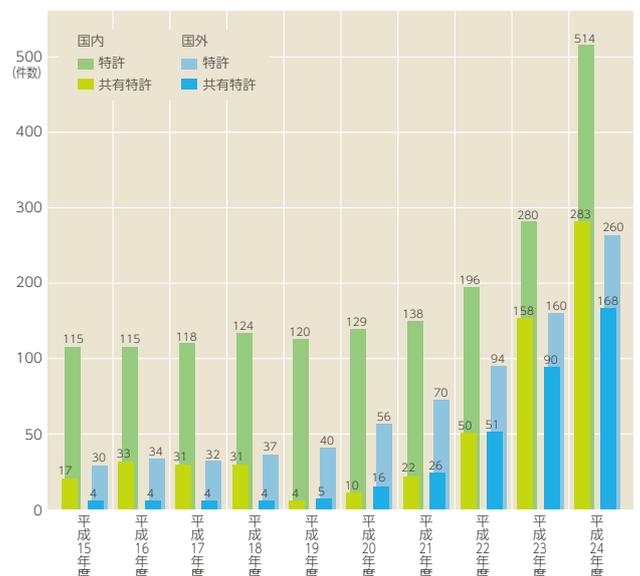
□ 過去10年間における科学研究費助成事業の採択の推移



□ 過去10年間における外部資金の受入れの推移



□ 過去10年間における特許件数の推移



【世界トップレベル研究拠点プログラム（WPIプログラム）】

高いレベルの研究者を中核とした「世界トップレベル研究拠点」の形成を目指す構想に対して集中的な支援を行うことにより、システム改革の導入等の自主的な取組を促し、世界から第一線の研究者が集まる、優れた研究環境と極めて高い研究水準を誇る「目に見える拠点」の形成を目指しています。

□平成19年度採択

拠点名称	拠点リーダー	拠点構想の概要
免疫学フロンティア研究センター	審良 静男 免疫学フロンティア研究センター拠点長・教授	世界トップクラスの研究者を中核とし、免疫学とイメージング技術・バイオインフォマティクスの最先端レベルの研究を融合的に進めることによって、生体内における免疫細胞の活性化、相互作用(免疫系のダイナミクス)を理解し、新しい戦略に基づいた感染症ワクチンの開発や、様々な感染症や癌に対する免疫療法のコンセプト創出、自己免疫疾患の治療法の開発を目指す。

【最先端研究開発支援プログラム】

研究者最優先の研究開発支援体制の下で、世界のトップを目指した先端的研究開発を推進することにより、我が国の中長期的な国際競争力及び底力の強化を図るとともに、研究成果を国民及び社会に還元することを目的としています。

□平成21年度採択

研究課題名	中心研究者	分野名
免疫ダイナミズムの統合的理解と免疫制御法の確立	審良 静男 免疫学フロンティア研究センター 拠点長・教授	ライフサイエンス
1分子解析技術を基盤とした革新ナノバイオデバイスの開発研究 —超高速単分子DNA シークエンシング、超低濃度ウイルス検知、極限生体分子モニタリングの実現—	川合 知二 産業科学研究所 特任教授	ナノテクノロジー・材料

【博士課程教育リーディングプログラム】

優秀な学生を俯瞰力と独創力を備え広く産学官にわたリグローバルに活躍するリーダーへと導くため、国内外の第一級の教員・学生を結集し、産・学・官の参画を得つつ、専門分野の枠を超えて博士課程前期・後期一貫した世界に通用する質の保証された学位プログラムを構築・展開する大学院教育の抜本的改革を支援し、最高学府に相応しい大学院の形成を推進することを目的としています。

□平成23年度採択

プログラム名称	プログラムコーディネーター	参画研究科 (下線：プログラムの主たる専攻等)	類型(テーマ)
超域イノベーション博士課程プログラム	工学研究科 藤田 喜久雄 教授	文学研究科(文化形態論専攻、文化表現論専攻)、人間科学研究科、法学研究科、経済学研究科、理学研究科、医学系研究科(医学専攻、保健学専攻)、歯学研究科、薬学研究科、工学研究科、基礎工学研究科、言語文化研究科、国際公共政策研究科、情報科学研究科、生命機能研究科	オールラウンド型
生体統御ネットワーク医学教育プログラム	医学系研究科 竹田 潔 教授	理学研究科(生物科学専攻)、医学系研究科(医学専攻、医科学専攻、保健学専攻)、歯学研究科、薬学研究科、工学研究科(生命先端工学専攻、応用化学専攻、環境・エネルギー工学専攻、ビジネスエンジニアリング専攻)、生命機能研究科	複合領域型(生命健康)

□平成24年度採択

プログラム名称	プログラムコーディネーター	参画研究科	類型(テーマ)
インタラクティブ物質科学・カデットプログラム	基礎工学研究科 木村 剛 教授	理学研究科(物理学専攻、化学専攻、高分子科学専攻)、工学研究科(生命先端工学専攻、応用化学専攻、精密科学・応用物理学専攻、マテリアル生産科学専攻)、基礎工学研究科(物質創成専攻、システム創成専攻)	複合領域型(物質)
ヒューマンウェアイノベーション博士課程プログラム	情報科学研究科 西尾 章治郎 教授	基礎工学研究科(機能創成専攻、システム創成専攻)、情報科学研究科(情報数理学専攻、コンピュータサイエンス専攻、情報システム工学専攻、情報ネットワーク学専攻、マルチメディア工学専攻、バイオ情報工学専攻)、生命機能研究科	複合領域型(情報)
未来共生イノベーター博士課程プログラム	人間科学研究科 志水 宏吉 教授	文学研究科(文化形態論専攻、文化表現論専攻)、人間科学研究科、法学研究科、経済学研究科、医学系研究科(医学専攻、保健学専攻)、工学研究科(地球総合工学専攻、ビジネスエンジニアリング専攻)、言語文化研究科、国際公共政策研究科	複合領域型(多文化共生社会)

【国立大学改革強化推進補助金】

国際的な知の競争が激化する中で、大学の枠を超えた連携の推進や個性・特色の明確化などを通じた国立大学の改革強化を推進することを目的としています。

事業名	取組内容
研究型大学のガバナンス改革実行プラン～「大学の中の大学」構想～	本学の学部・大学院・研究所等の専門性を活かしつつ大学の総合力を発揮するために、大阪大学の中に「未来戦略機構(Institute for Academic Initiatives)」を設置し、「大学の中の大学」と位置付け、大学全体で取り組むべき横断的な教育・研究を機動的にマネジメントし、総長のリーダーシップを発揮しやすい環境を整備することにより、大学全体のガバナンスの強化を効率的に行うことを目指す。

【産学共同の研究開発による実用化促進(大学に対する出資事業)】

成長による富の創出のため、大学や法人による、研究開発成果の事業化・実用化に向けた官民共同の研究開発を推進することを目的としています。
平成25年3月、大阪大学は、本事業において国からの出資対象となる4大学の一つとして選定されました。これを受けて、出資事業に関する事項について、審議、決定する「共同研究・事業化委員会」、同委員会の定めた方針に基づき、共同研究計画の公募・審査・選定、進行管理等を行う「共同研究推進グループ」を設置し、本事業の推進を通じて大学内に産業創出拠点を導く「Industry on Campus」構想を幅広く展開することにより、研究成果の事業化、実用化による新たな社会的価値の創出に取り組めます。

【グローバル COE プログラム】

□平成21年度採択

プログラム名称	拠点リーダー	拠点形成専攻等名(※下線:プログラムの中核となる専攻等名、[]:連携先機関名)	学問分野
認知脳理解に基づく未来工学創成	石黒 浩 基礎工学研究科 教授	基礎工学研究科(システム創成専攻、機能創成専攻)、工学研究科(知能・機能創成工学専攻)、情報科学研究科(マルチメディア工学専攻)、人間科学研究科(人間科学専攻)、医学系研究科(医学専攻)、生命機能研究科(生命機能専攻) [(株)国際電気通信基礎技術研究所、(独)情報通信研究機構]	学際・複合・新領域

【大学の国際化のためのネットワーク形成推進事業(旧グローバル30事業)】

大学の国際化のためのネットワーク形成推進事業は、国際化の拠点としての総合的な体制整備を図るとともに、産業界との連携、拠点大学間のネットワーク化を通じて、資源や成果の共有化を図り、国際化に積極的な大学を含め我が国の大学の国際化を推進することを目的としています。

事業の概要		構想責任者
他大学とのネットワーク形成	阪神地区大学国際化推進ネットワーク:大阪大学、神戸大学、関西大学、関西学院大学 G30関西地区連絡会:大阪大学、京都大学、同志社大学、立命館大学	東島 清 理事・副学長
産業界との連携	関西経済連合会:グローバル人材活用運営協議会への参画及び各種連携イベントの実施	
インターナショナルカレッジの運営		
4つの英語コースの授業継続	①人間科学コース[学部]、②化学・生物学複合メジャーコース[学部]、③国際物理特別コース[大学院]、④統合理学特別コース[大学院]	
短期留学受入プログラムの開発、提供		
これらの事業を通じ、海外広報による留学生の獲得と受け入れ体制(留学生の生活・学習・就職支援等)を強化し、一層の促進を図っていく。		

【卓越した大学院拠点形成支援補助金】

優れた研究基盤を活かし高度な教育と研究を融合する卓越した拠点を有する大学に対し、博士課程の学生が学修研究に専念する環境を整備するために必要な経費を支援し、もって、優秀な学生を惹きつけ、世界で活躍できる研究者を輩出する環境づくりを推進することを目的としています。

□平成24年度採択

補助事業の名称	実施責任者	選定された専攻等
卓越した大学院拠点形成支援補助金	馬場 章夫 理事・副学長	GCOE平成19年度採択拠点(生命環境化学グローバル教育研究拠点、構造・機能先進材料デザイン教育研究拠点、次世代電子デバイス教育研究開発拠点、コンフリクトの人文国際研究教育拠点)、WPI拠点(免疫学フロンティア研究センター)、文学研究科 文化形態論専攻、理学研究科 宇宙地球科学専攻、工学研究科 応用化学専攻、生命機能研究科 生命機能専攻
		専攻に属さない組織 未来戦略機構

【リサーチ・アドミニストレーターを育成・確保するシステムの整備】

大学等が研究開発に知見のある人材をリサーチ・アドミニストレーター^(※)として活用・育成するとともに、専門性の高い職種として定着を図ることをもって、大学等における研究推進体制の充実強化に資することを目的としています。

(※)大学等において、研究者とともに研究活動の企画・マネジメント、研究成果活用促進を行うことにより、研究者の研究活動の活性化や研究開発マネジメントの強化等を支える業務に従事する人材を指します。

□平成24年度採択

補助事業の名称	事業担当者	事業タイプ
リサーチ・アドミニストレーターを育成・確保するシステムの整備	池田 雅夫 大型教育研究プロジェクト支援室 統括マネージャー	世界的研究拠点整備

【戦略的創造研究推進事業】

我が国が直面する重要な課題の達成に向けた基礎研究を推進し、社会・経済の変革をもたらす科学技術イノベーションを生み出す、新たな科学知識に基づく創造的な革新的技術のシーズを創出することを目的としています。

□先端的低炭素化技術開発事業(ALCA)

採択年度	採択件数
□平成24年度	2件
□平成23年度	4件
□平成22年度	2件

□新技術シーズ創出

(平成25年5月1日現在)

プログラム名	実施件数
CREST (チーム型研究)	57件
さきがけ (個人型研究)	20件
ERATO (総括実施型)	2件

【最先端・次世代研究開発支援プログラム】

将来、世界をリードすることが期待される潜在的可能性を持った研究者に対する研究支援制度であり、政策的・社会的意義が特に高い先端的研究開発を支援することにより、中長期的な我が国の科学・技術の発展を図るとともに、我が国の持続的な成長と政策的・社会的課題の解決に貢献することを目的としています。

□平成22年度採択

研究課題名	研究者
持続可能な社会づくりのための協働イノベーション-日本におけるオフィス3原則の実現策	大久保 規子 法学研究科 教授
固体素子における非平衡多体系のダイナミクス	小林 研介 理学研究科 教授
免疫機構を制御する微生物由来化合物の化学合成と機能解析および新規制御分子の創製	藤本 ゆかり 理学研究科 准教授
臓器特性を利用した心血管疾患治療標的の探索と臨床応用	高島 成二 医学系研究科 准教授
精神疾患の成因に関わる遺伝子×環境相互作用ダイナミクスの解析系の構築	橋本 均 薬学研究科 教授
オイル中の有害物質を効率的に完全除去・回収できる革新的植物性吸着剤の開発	木田 敏之 工学研究科 准教授
走査型磁気共鳴顕微鏡を用いた単原子の元素同定法の開発	杉本 宜昭 工学研究科 准教授
全有機分子サイリスタ・ソレノイドのデザインと実証	関 修平 工学研究科 教授
骨微細構造から学ぶ骨生体材料学の構築と骨配向化制御	中野 貴由 工学研究科 教授
生体機能可視化のための超解像分子イメージング技術の開発	藤田 克昌 工学研究科 准教授
1細胞レベルで3次元構造を制御した革新的ヒト正常・疾患組織モデルの創製	松崎 典弥 工学研究科 助教
Membranomeに基づく革新的バイオテクノロジーの創成	馬越 大 基礎工学研究科 教授
エネルギー変換場としての界面電気二重層の分子論的描像の解明とその応用展開	福井 賢一 基礎工学研究科 教授
診断・創薬イノベーションを実現する超高感度振動子バイオセンサーの創成	荻 博次 基礎工学研究科 准教授
ボツリヌス毒素複合体の体内侵入機構の解明と経粘膜ワクチンデリバリーとしての応用	藤永 由佳子 微生物病研究所 特任教授
細胞内Mg ²⁺ 制御の分子実体解明とがん悪性化シグナル	三木 裕明 微生物病研究所 教授
トポロジカル絶縁体による革新的デバイスの創出	安藤 陽一 産業科学研究所 教授
自己組織化酸化ナノワイヤを用いた極微デバイスによるグリーン・イノベーション	柳田 剛 産業科学研究所 准教授
プリント技術によるバイオナノファイバーを用いた低環境負荷・低温エレクトロニクス製造技術の開発	能木 雅也 産業科学研究所 准教授
コンピュータシミュレーションによる安全な人体内部3次元構造の可視化	向川 康博 産業科学研究所 准教授
薬剤排出ポンプによる細菌多剤耐性化・病原性発現制御機構の解明と新規治療法開発	西野 邦彦 産業科学研究所 准教授
水から水素発生するラン藻モデル細胞創成に必要な光合成レドックス代謝ネットワークの完全理解	栗栖 源嗣 蛋白質研究所 教授
流産リスク管理に向けた配偶子異数体形成過程の基礎的研究	篠原 美紀 蛋白質研究所 准教授
全元素の超伝導化	清水 克哉 極限量子科学研究センター 教授

【科学技術戦略推進費補助金等】

□科学技術戦略推進費補助金

(平成25年5月1日現在)

プログラム名称	課題名	実施部局・組織等
健康研究成果の実用化加速のための研究・開発システム関連の隘路解消を支援するプログラム	免疫難病治療のための次世代型抗体医薬開発	免疫学フロンティア研究センター、医学系研究科、医学系研究科保健学専攻
健康研究成果の実用化加速のための研究・開発システム関連の隘路解消を支援するプログラム	患者別に機能発現する階層構造インプラント	医学系研究科、工学研究科
安全・安心な社会のための犯罪・テロ対策技術等を実用化するプログラム	人物映像解析による犯罪捜査支援システム	産業科学研究所
安全・安心な社会のための犯罪・テロ対策技術等を実用化するプログラム	可搬型生物剤・化学剤検知用バイオセンサの開発	工学研究科
途上国におけるイノベーションを促進する国際協力の戦略的推進	ウガンダにおけるマラリアワクチンの臨床研究拠点形成	微生物病研究所
ゲノム情報と電子化医療情報等の統合によるゲノムコホート研究の推進	大規模分子疫学コホート研究の推進と統合	医学系研究科

□科学技術人材育成費補助金

(平成25年5月1日現在)

プログラム名称	課題名	実施部局・組織等
テニュアトラック普及・定着事業	-	工学研究科

□地域産学官連携科学技術振興事業費補助金

(平成25年5月1日現在)

プログラム名称	課題名	実施部局・組織等
<イノベーションシステム整備事業> 先端融合領域イノベーション創出拠点形成プログラム	フォトニクス先端融合研究拠点	工学研究科

【がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン】

手術療法、放射線療法、化学療法その他のがん医療に携わがん専門医療人を養成する大学の取組を支援することを目的としています。

取組名称	大学名 (◎:主幹校)	採択
地域・職種間連携を担うがん専門医療者養成	◎大阪大学(医学系研究科)、京都府立医科大学、奈良県立医科大学、兵庫県立大学、和歌山県立医科大学、大阪薬科大学、神戸薬科大学	平成24年度

【大学間連携共同教育推進事業】

国公立の設置形態を超え、地域や分野に応じて大学間が相互に連携し、社会の要請に応える共同の教育・質保証システムの構築を行う取組の中から、優れた取組を選定し、重点的な財政支援を行うことにより、教育の質の保証と向上、強みを活かした機能別分化を推進することを目的としています。

取組名称	連携大学等名 (◎:代表校)	採択
データに基づく課題解決型人材教育に関する統計教育質保証	【大学】 東京大学、大阪大学(※)、総合研究大学院大学、◎青山学院大学、多摩大学、立教大学、早稲田大学、同志社大学 【連携機関】 (学会)応用統計学会、日本計算機統計学会、日本計量生物学会、日本行動計量学会、日本統計学会、日本分類学会(団体)大学入試センター、日本アクチュアリー会、日本科学技術連盟、日本銀行、日本経済団体連合会、日本製薬工業協会、日本統計協会、日本マーケティング・リサーチ協会	平成24年度

※人間科学部・人間科学研究科、経済学部・経済学研究科、基礎工学部・基礎工学研究科、全学教育推進機構、金融・保険教育研究センター

【情報技術人材育成のための実践教育ネットワーク形成事業】

情報技術を活用して社会の具体的な課題を解決できる人材を育成するため、複数の大学と産業界による全国的なネットワークを形成し、実際の課題に基づく課題解決型学習等の実践的な教育を実施・普及することを目的としています。

取組名称	連携大学名 (◎:代表校)	採択
分野・地域を越えた実践的情報教育協働NW	◎大阪大学(情報科学研究科)、東北大学、筑波大学、東京大学、東京工業大学、名古屋大学、神戸大学、九州大学、九州工業大学、北陸先端科学技術大学院大学、奈良先端科学技術大学院大学、公立ほこだて未来大学、産業技術大学院大学、慶應義塾大学、情報セキュリティ大学院大学	平成24年度

【大学の世界展開力強化事業】

研究課題名	代表者所属	代表者	本学及び国内の協力機関	交流相手国・機関
「アジア平和=人間の安全保障大学連合」を通じた次世代高品位政策リーダーの育成	国際公共政策研究科	松野 明久 教授	長崎大学 名城大学 広島大学	シンガポール・ナンヤン工科大学/タイ・パヤップ大学/フィリピン・デラサール大学/東ティモール・国立東ティモール大学/インドネシア・シアークアラ大学/コスタリカ・国連平和大学/カンボジア・バンサストラ大学

【政府開発援助ユネスコ活動費補助金】

研究課題名	代表者所属	代表者	交流相手国・機関
アジア生物資源の持続可能な利用に向けたUNESCO国際大学院研修講座ネットワーク再構築と基盤バイオ技術構築	生物工学 国際交流センター	仁平 卓也 教授	インドネシア・ガジャマダ大学/タイ・モンクット王工科大学/フィリピン・フィリピン大学/ベトナム・ハノイ工科大学等

【独立行政法人日本学術振興会国際交流事業】

事業名	採択件数
先端研究拠点事業国際戦略型	2件
アジア研究教育拠点事業	3件
アジア・アフリカ学術基盤形成事業	1件
日独共同大学院プログラム	1件
国際化学研究協力事業	1件
研究拠点形成事業 A.先端拠点形成型	4件
多国間国際研究協力事業	1件
国際共同研究教育パートナーシッププログラム	1件
頭脳循環を加速する若手研究者戦略的海外派遣プログラム	3件

【独立行政法人国際協力機構(JICA)事業】

事業名	採択件数
地球規模課題対応国際科学技術協力(SATREPS)	2件

【福利厚生施設等】

□課外活動施設等

施設名	概要
運動場	豊中：21,860㎡ 吹田：18,641㎡ 箕面：17,400㎡
コート	豊中：テニス(10面)、吹田：テニス(8面) 箕面：テニス(5面)、ハンドボール(1面)
体育館	豊中：1棟(3,105㎡、大体育室・小体育室・柔道場・剣道場) 吹田：1棟(3,237㎡、アリーナ・トレーニング室) 箕面：1棟(2,540㎡、体育室・武道場・球技場・トレーニング場)
第二体育館	豊中：1棟(1,386㎡、大体育室・小体育室) 箕面：1面(688㎡、体育室)
プール	豊中：50m×8コース、箕面：25m×7コース
艇庫	守口：ボート(218㎡)、西宮：ヨット(201㎡)
弓道場	豊中：1棟(83㎡、7人立) 吹田：1棟(762㎡、8人立)
ゴルフ練習場	豊中：1面(445㎡、6打席)
卓球場	豊中：(131㎡、4面)
体育管理棟	豊中：1棟(156㎡) 吹田：1棟(433㎡、器具庫・更衣室)
エアライフル場	吹田：1棟(256㎡、10人立、10m)
アーチェリー場	吹田：1棟(3,605㎡、14人立、30～90m)
トレーニングルーム	豊中：1棟(317㎡)
明道館	豊中：1棟(990㎡、サークル共用室・合宿施設)
仮設サークル棟	豊中：1棟(137㎡)
学生会館	豊中：1棟(1,938㎡、大集会室、小集会室)
音楽練習室1	豊中：1棟(102㎡)

施設名	概要
音楽練習室2	豊中：1棟(226㎡)
茶室	豊中：1棟(9㎡)
学生交流棟	豊中：3、4階(2,093㎡、共用室・練習室・和室)
サークル棟	箕面：1棟(1,471㎡、共用室・練習室等)
合宿所	箕面：1棟(205㎡)
豊中福利会館	豊中：食堂(621席)、書店、売店、理髪店、旅行センター、ATM
図書館下食堂	豊中：食堂(360席)、売店
DonDon	豊中：食堂(213席)、コピーセンター、マイルーム、談話室
カフェテリアらふおれ	豊中：食堂(320席)
カルチエ	豊中：喫茶(24席)
ミュージアムカフェ坂	豊中：喫茶(40席)
学生交流棟	豊中：食堂・喫茶(509席)、ミニコンビニ
吹田福利会館	吹田：食堂(530席)、書店、売店、理髪店、旅行センター、マイルーム、ATM
本部前福利会館	吹田：食堂(136席)、喫茶(40席)、書店、売店、ATM
薬学研究科食堂	吹田：食堂(126席)
微研食堂	吹田：食堂
箕面福利会館	箕面：食堂(512席)、書籍、売店、旅行センター、マイルーム、フードコンビニ、ATM
待兼山会館(LIBRE)	豊中：食堂(102席)、会議室2室
職員会館(さわらび)	吹田：食堂(144席)、会議室2室、談話室
職員食堂(匠)	吹田：食堂(110席)
ラ・シェーナ	吹田：レストラン(77席)
ミネルバ	吹田：レストラン(73席)
スカイレストラン	吹田：レストラン(140席)

□学生寄宿舍(学寮)・その他施設

施設名	名称	概要
学生寄宿舍	刀根山寮(男子)	3棟(2,637㎡) 収容人員 142名
	清明寮(男子) ^注	3棟(4,111㎡) 収容人員 152名
	新稲寮(女子)	1棟(769㎡) 収容人員 40名
	向陽寮(男子)	4棟(5,546㎡) 収容人員 200名
	もみじ寮(女子)	
山の家 [*]	山の家	1棟(326㎡) 収容人員 36名
セミナーハウス	ひるぜんセミナーハウス	1棟(350㎡) 収容人員 14名
外国人宿泊施設	国際交流会館	2棟(7,925㎡) 客室 164室
	国際交流会館吹田分館	1棟(537㎡) 客室 13室
	春日丘ハウス	3棟(2,989㎡) 客室 66室
留学生宿泊施設	吹田留学生会館	1棟(2,080㎡) 収容人員 72名
	新稲国際学生宿舎	1棟(219㎡) 収容人員 12名
	箕面留学生会館	2棟(3,732㎡) 収容人員 123人
	箕面国際学生宿舎	1棟(896㎡) 収容人員 40人
職員会館	津雲台国際学生宿舎	1棟(3,113㎡) 収容人員 119人
	待兼山会館	1棟(809㎡) 客室 7室
	箕面会館	1棟(420㎡) 客室 9室

(注) 清明寮は平成25年度より留学生との混住寮となっています。
*平成25年8月末閉舎。

□保育園

施設名	建物延床面積	定員
たけのこ(吹田キャンパス)	650㎡	2～5歳 各20人 合計80人
まきば(吹田キャンパス)	168㎡	0歳 25人 1歳 20人 合計 45人
まちかね(豊中キャンパス)	658㎡	0～5歳 各10人 合計60人

□土地・建物

(平成25年5月1日現在)

地区名	土地(㎡)	建物	
		建(㎡)	延(㎡)
吹田地区	997,071.32	170,883.14	652,890.80
豊中地区	445,851.08	68,125.57	259,199.65
箕面地区	140,400.04	15,593.27	62,290.16
中之島地区	1,000.00	752.00	8,158.00
その他	68,027.17 *(28,097.91)	17,668.41	54,779.88
合計	1,652,349.61 *(28,097.91)	273,022.39	1,037,318.49

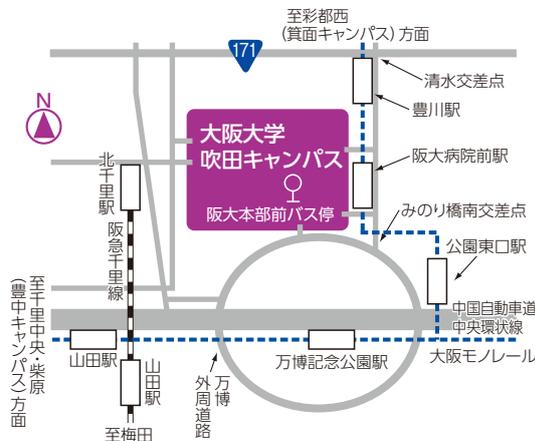
*()内借用地で外数

【キャンパスマップ】

吹田キャンパス



- ① 本部事務機構
- ② 産学連携本部(テクノアライアンス棟)
- ③ 産学連携本部(A棟～D棟)
- ④ 人間科学研究科・人間科学部
- ⑤ 医学系研究科・医学部(医学科)
- ⑥ 医学系研究科・医学部(保健学科)
- ⑦ 医学部附属病院
- ⑧ 歯学研究科・歯学部・同附属病院
- ⑨ 薬学研究科・薬学部
- ⑩ 工学研究科・工学部
- ⑪ 生命機能研究科
- ⑫ 情報科学研究科
- ⑬ 大阪大学・金沢大学・浜松医科大学・千葉大学・福井大学連合小児発達学研究所
- ⑭ 微生物病研究所
- ⑮ 蛋白質研究所
- ⑯ 低温センター
- ⑰ ラジオアイソトープ総合センター
- ⑱ 環境安全研究管理センター
- ⑲ 国際教育交流センター
- ⑳ 生物工学国際交流センター
- ㉑ 臨床医工学融合研究教育センター
- ㉒ グローバルコラボレーションセンター
- ㉓ 環境イノベーションデザインセンター
- ㉔ レーザーエネルギー学研究センター
- ㉕ 免疫学フロンティア研究センター
- ㉖ 産業科学研究所
- ㉗ 社会経済研究所
- ㉘ 接合科学研究所
- ㉙ 超高圧電子顕微鏡センター
- ㉚ サイバーメディアセンター
- ㉛ 核物理研究センター
- ㉜ 大阪大学・情報通信研究機構
- ㉝ 脳情報通信融合研究センター



アクセス

◆最寄駅

- ① 阪急電車千里線北千里駅下車、東へ徒歩約20分
- ② 大阪モノレール阪大病院前駅下車
- ③ 地下鉄御堂筋線千里中央駅発、阪急バス「阪大本部前行」または「茨木美穂ヶ丘行」乗車、阪大本部下車
- ④ 阪急電車京都線茨木市駅発、近鉄バス「阪大本部前行」乗車、阪大本部下車
- ⑤ JR東海道線茨木駅発、近鉄バス「阪大本部前行」乗車、阪大本部下車
- ⑥ 阪急電車千里線北千里駅発、阪急バス「阪大医学部病院前行」乗車、阪大本部下車

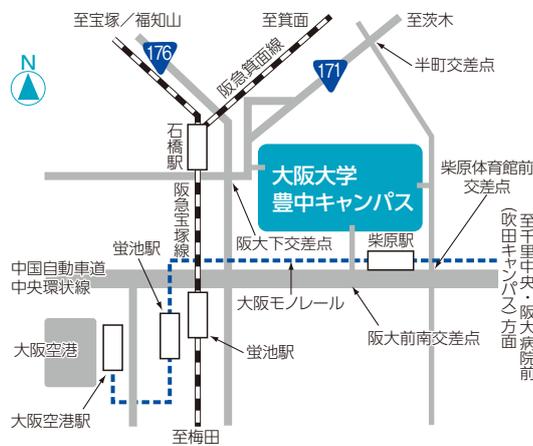
TEL

06-6877-5111(代表)
 06-6879-5111(代表) 医学系研究科・医学部・同附属病院
 歯学研究科・歯学部・同附属病院

豊中キャンパス



- ① 附属図書館
- ② 文学研究科・文学部
- ③ 法学研究科・法学部
- ④ 経済学研究科・経済学部
- ⑤ 理学研究科・理学部
- ⑥ 基礎工学研究科・基礎工学部
- ⑦ 言語文化研究科
- ⑧ 国際公共政策研究科
- ⑨ 高等司法研究科
- ⑩ 極限量子科学研究センター
- ⑪ 太陽エネルギー化学研究センター
- ⑫ 総合学術博物館
- ⑬ 全学教育推進機構
- ⑭ 保健センター
- ⑮ コミュニケーションデザイン・センター
- ⑯ 金融・保険教育研究センター
- ⑰ 科学教育機器リノベーションセンター
- ⑱ ナノサイエンスデザイン教育研究センター
- ⑲ 知的財産センター
- ⑳ 21世紀懐徳堂
- ㉑ 適塾記念センター



アクセス

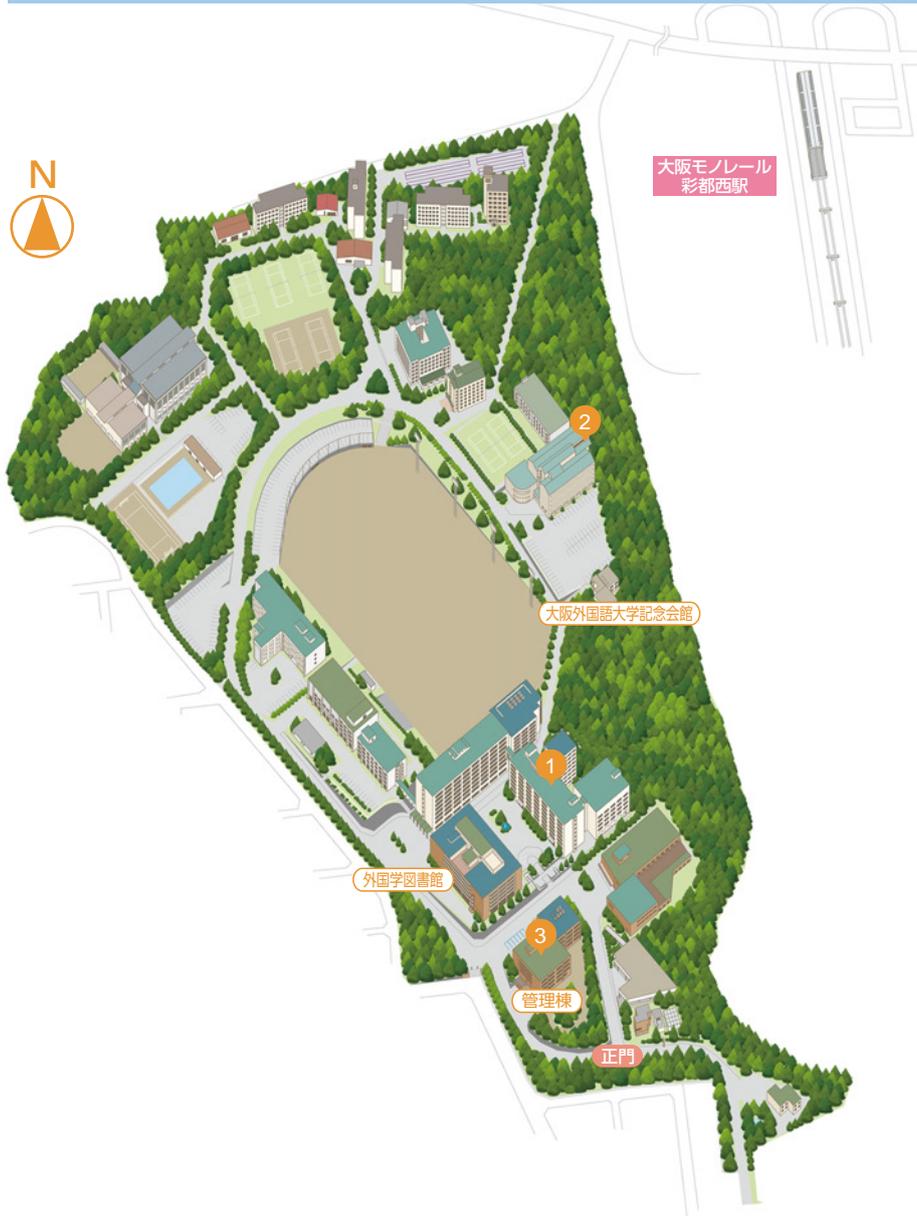
◆最寄駅

- ① 阪急電車宝塚線石橋駅下車、東へ徒歩約15分
- ② 大阪モノレール柴原駅下車、西へ徒歩約10分

TEL
06-6850-6111 (代表)

【キャンパスマップ】

□ 箕面キャンパス



- ① 外国語学部
- ② 日本語日本文化教育センター
- ③ アーカイブズ



アクセス

◆ 最寄駅

- ① 大阪モノレール彩都西駅下車、西へ徒歩約15分
- ② 阪急電車千里線北千里駅発、阪急バス「阪大外国語学部前行」乗車、阪大外国語学部前下車または「間谷住宅行」乗車、間谷住宅4下車
- ③ 地下鉄御堂筋線千里中央駅発、阪急バス「阪大外国語学部前行」乗車、阪大外国語学部前下車または「間谷住宅行」乗車、間谷住宅4下車

TEL
072-730-5111 (代表)

□ 中之島キャンパス



アクセス

◆ 最寄駅

- ① 京阪中之島線中之島駅下車、徒歩約5分
- ② 阪神本線福島駅下車、徒歩約9分
- ③ JR東西線新福島駅下車、徒歩約9分
- ④ JR環状線福島駅下車、徒歩約12分
- ⑤ 地下鉄四つ橋線肥後橋駅下車、徒歩約10分
- ⑥ 地下鉄御堂筋線淀屋橋駅下車、徒歩約16分

TEL
06-6444-2100 (代表)

【アクセス】

□ 広域マップ



22世紀に輝く



www.osaka-u.ac.jp



平成25年6月 発行
大阪大学 広報・社会学連携オフィス
〒565-0871 大阪府吹田市山田丘1-1
Tel 06-6877-5111

学章について



制作者：田中 一光(たなか いっこう)

制作意図：60年の伝統を持つ銀杏をモチーフに、3つの円弧による造型のなか
かに「OSAKA」のOをしのばせ、歴史ある大学としての知性と格調
を失うことなく、大学、学生、市民への連なる親近感を表現した。

この学章は、大阪大学創立60周年(平成3年)を記念して制定されました。